北中連だより

2020年
新　春　号
No. 131

四宮　佑次　『時の肖像#09』

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
http://www.hokuchu.or.jp/

令和元年度　北中連役員名簿

令和２年１月１日現在

役職名	氏　名	組合名
会　長	自見榮祐	響工業団地（協）
副会長	池田幹友	北九州塗装（協）
〃	安心院武彦	小倉機器工業（協）
〃	梯　輝元	魚町商店街（振）
〃	富澤善和	新日本設備工業（協）
〃	安田敏剛	北九州工業団地（協）
常任理事	岩男平八郎	萩原・青山商店街（協）
〃	樋口和宏	八幡電気工事業（協）
〃	西竹浩一	戸畑新工業団地（協）
理　事	白石春利	（協）テクノタウン戸畑
〃	岡住　奏	（協）安協会
〃	髙木壽則	天神商店街（振）
〃	竹原健次	戸畑貨物センター（協）
〃	井澤元博	魚町一丁目商店街（振）
〃	月形孝司	北九州市防水工事業（協）
〃	渡辺敏也	北九州ビルメンテナンス（協）
〃	井上　弘	小倉中央銀座商店街（協）
〃	鍋屋秀一	小倉鉄工団地（協）
〃	黒瀬　剛	中間市建設（協）
〃	井上和秀	（株）井上産商

監　事	杉岡密雄	小倉駅前商店街（協）
〃	山岡義昭	東小倉工業団地（協）
〃	桝谷省吾	小倉魚町二番街（協）

北中連だより

Contents

2020 New Year　No.131　目次

掲載ページ

年頭のご挨拶

1　(一社)北中連会長　自見 榮祐

2　北九州市長　北橋 健治

3～8　北九州市長へ「要望書」を提出

9～12　福岡県知事へ「要望書」を提出

13　北中連　理事会・正副会長会

14　部会・委員会
〔工業・商業・サービス業その他業種〕

15　部会･委員会　〔建設関連･金融税制〕

掲載ページ

16　中小企業団体全国大会

17　地域経済懇談会

18～26　福機連　先進企業視察

27　福機連　総会・卓話会

28　北中連からのお願い

29～33　北九州市からのお知らせ

◇ 中小企業課からのお知らせ

◇ 雇用政策課からのお知らせ

◇ 女性活躍推進課からのお知らせ

34　四宮先生の紹介

35～36　北中連日誌

37～39　会員名簿

40～47　協賛広告

48　会員加入のご案内

表紙絵

四宮　佑次
「時の肖像#09」

裏表紙絵

四宮　佑次
「風に吹かれて＃08」

年頭のご挨拶

（一社）北九州中小企業団体連合会
会長　自　見　榮　祐

今年は一年の年明けであると同時に、令和の時代の幕開けでもあります。更には1964年の東京オリンピックに次ぐオリンピックイヤーで半世紀を超えた節目の年となる可能性もあります。年明け早々米国とイランの小競り合い、とりあえずは全面戦争への道は回避されましたがウクライナの旅客機撃墜などいつなんどき不測の事態が起きるか今週の台湾の選挙からアメリカの大統領選挙まで世界のどこを見ても緊張は続くでしょう。オリンピックが平和の祭典として粛々と挙行されるには大変な外交努力もいるのではと気になります。ゴーンの逃亡劇など茶番で済むのか、世界の世論は？と恐る恐る海外の反応を気にするようでは困ります。SDGsの持続的な発展はまさに日本古来の価値観です。天皇制はもとより、企業の永続性を尊ぶ文化を、オリンピックの開催を通じて海外にも発信すべきチャンスかと思います。

IoTやAIの進歩は加速度がつくばかりで、全面的についていけるものではありません。足元はこの荒波にも何とか対処するしかないのでしょうが、これを横糸とすると持続性という縦糸をしっかり握って荒波に掬われないようにすることが肝要かと思います。中小企業は？とか大企業は？とか民間企業は、公務員は、とか業種ごととか、あらゆる境界線が消えていくのではないでしょうか？かねて言われているガラガラポンで出直し、が現実に起こってくると思います。岩盤規制といわれるがんじがらめの法律の網もいい加減に時代に即して見直さないとどうにもなりません。法は必要ですがそれを守ることを職業とする人が多くなりすぎると世の中は当然いびつなものとなります。日本の中小企業は50年、100年、200年と永続性の高さが特徴です。AIが人間の能力を超えるようになっても彼らには寿命がありません。私どもには必ず死は訪れるということを承知の上で繋ぐことを考えている存在です。こちらが主役でなくては人間社会でなくなります。自分たちの存在が最も大事な存在なんだという自信をもって足元を一歩一歩踏みしめてまいりましょう。

現在の世界人口は77億人。地球が養える限界を超えていると思いますがこれからは人口が減っていくのをいかに軟着陸させるかが課題です。人口増＝経済成長からの転換が必要な時代ですから、郷土北九州のことを考えても、上手に縮むことのできる最有力都市ではないでしょうか？過密がかっこいいことではありません。品のいい賑わいがあればいいのです。製鉄所の建設で急膨張した都市が基幹産業の鉄鋼業を滅ぼすこともなく着実に進化して過密の弊害を乗り越えてきつつあるわが町にもっと誇りを持つべきです。過密の賑わいに憧れる人は東京なり博多なりに遊びに行くのも、引っ越すのも自由ですし、私ども後期高齢者が問題なら10年から15年に限っての社会保障制度を考えればいいのです。100年大丈夫な制度ですとか言わないでその辺はデジタル思考で時宜に応じた制度設計が必要でしょう。

一日、一日を明るい笑顔で頑張りましょう！

（令和２年１月10日記）

年頭のご挨拶

北九州市長　北　橋　健　治

文化芸術・スポーツの力で
　にぎわいと活力あふれる元気なまちへ

新年あけましておめでとうございます。昨年は、「小倉城天守閣」リニューアルオープンや門司港駅グランドオープン、九州初上陸となる「平成中村座　小倉城公演」、アメリカ、中国、ベトナムの姉妹・友好都市の代表団等の受入れ、日中韓三カ国環境大臣会合の開催などにより、外国人観光客を含む多くの方々にご来訪いただき、まちの彩りがより豊かになりました。

また、ラグビーワールドカップ2019日本大会における、ウェールズ代表チームのキャンプ時の公開練習では、約１万5,300人もの観客がミクニワールドスタジアム北九州に集結し、ウェールズ国歌を大合唱して、代表チームを歓迎し、そのおもてなしを世界に発信することができました。

さらに、嬉しいニュースとして、市民一丸となって応援してきた「ギラヴァンツ北九州」がJ3で優勝し、J2昇格を果たすことができました。

今年も、SDGs達成を目指す先進都市として、にぎわいと活力あふれる元気な北九州市を目指して様々な取組を進めてまいります。

まず、暮らしの面では、新たな子どもプランに基づき、待機児童対策や幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、児童虐待事案の早期発見、早期対応の強化など、一人ひとりに寄り添った支援を充実させ、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指します。

また、自治体が医療現場に医療・介護・健診情報を本格的に提供する全国初の試みである「とびうめ@（あっと）きたきゅう」を市内全体にひろげ、一人ひとりに切れ目のない医療・介護サービスが提供される仕組みを構築するとともに、介護ロボット等の活用による先進的介護を実践する「北九州モデル」を国へ提案してまいります。

さらに、近年の記録的な豪雨等による大規模災害に対応していくため、総合的な防災体制を充実、強化します。また、暴力追放運動などをさらに推進し、日本トップクラスの安全・安心なまちを目指します。

次に、産業振興の面では、響灘地区での風力発電関連産業の総合拠点化や北九州空港の機能拡張と利用促進、ロボットの最先端の研究開発や導入支援など、本市の強みを活かした戦略的なプロジェクトを着実に推進します。

また、国際会議「2020ホラシスアジアミーティング」の開催を通じ、環境ビジネス先進都市として飛躍の年にします。

文化芸術の面では、日中韓の３カ国で取り組む「東アジア文化都市2020北九州」を開催します。今年３月28日の開幕式を皮切りに、一年間を通して多彩な文化芸術事業を実施しながら、中国・韓国をはじめとする東アジアとの交流を図っていきます。

スポーツ振興の面では、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。キャンプ相手国との交流を進め、本市が誇れる魅力の一つである、人情あふれるおもてなしを世界に発信します。

今年は、文化芸術、スポーツの振興によりまちに活力をもたらすとともに、若者の定着に向けた地方創生や民間主体の動きの活発化などによるSDGs達成に向けての取組を着実に推進することで、「住みよいまち・北九州市」の魅力を国内外にさらに発信していく一年としてまいります。

北九州市長へ「要望書」を提出

令和元年11月25日（月）、自見会長を始め池田、安心院、梯、富澤、安田の各副会長が市庁舎を訪問して、北橋健治市長に「令和２年度北九州市中小企業対策に関する要望」を手交しました。

この要望書は、北中連の４部会（工業、商業、建設関連、サービス業その他業種）と金融税制委員会において提案された要望、意見を集約し、正副会長会及び理事会で検討を加えて作成、承認されたものです。

当日は、北橋市長を始め鮎川典明 産業経済局長、柴田泰平 雇用・生産性改革推進部長、本島直樹 中小企業振興課長、徳永篤司 事業承継・国際ビジネス担当課長の出席の下、要望書の掲載順に、福岡空港と北九州空港の機能分担、下関北九州道路の早期実現、ものづくり拠点であり続けるための産学官連携しての成長産業への取組み、客引き行為等の禁止条例の制定、小売業・サービス業の生産性向上のためのキャッシュレス化等に対する支援、異常気象による災害を防止するための道路・河川等の補強・改修工事の実施、生産性向上を目指す中小企業を支援する固定資産ゼロ特例事業の期間延長、外国人就業に伴う種々の環境整備などについて説明を行いました。

なお、要望事項は９分野41項目で、次のとおりです。

令和２年度　北九州市中小企業対策に関する要望

［景気対策］

１　市内事業所の99％、従業員数の約８割を占める中小企業は、本市経済の発展と活力の源である。市においては「北九州市中小企業振興条例」の基本理念に則り、産業振興計画である「北九州市新成長戦略」の中で「地域企業が元気に活動しつづける環境整備」を謳い、種々の施策を実施しているが、さらに、中小企業が安心して事業が継続できるよう、金融、税制などを含めた総合的な中小企業施策の実施と予算の確保を行っていただきたい。

また、国に対して、低迷している我が国経済を回復させるため、早急かつ的確な景気対策や税制改革を実行するよう、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

２　北九州空港は国土交通省から訪日誘客

支援空港〔拡大支援型〕の認定も受けている。この間に、国際線・国内線、更には国際チャーター便、貨物定期便の積極的な誘致を進めると共に滑走路の延伸（3,000m化）を早期に実現するべく努力していただきたい。

併せて、福岡県、九州全域を俯瞰すれば、欧米主要都市との定期便を持てる国際空港の設置は喫緊の課題である。現在、福岡空港が2,000億円かけて二本目の滑走路を建設中であるが、これが完成しても現在の混雑空港から一気に国際ハブ空港になるのは物理的に無理があると思われる。更なる拡大のための空港周辺の私有地の買い上げは困難を極めるであろうし、市街地にあって便利な空港、は裏を返せば、航空機事故上危険な空港という宿命を持つ。北九州空港への軌道系アクセスの検討は北九州空港の利用者が200万人を超えてから、となっているが、そんなペースでは世界の潮流に置いて行かれるだけになろう。足立山をブチ抜いて新幹線を空港まで引き込むのは1,200億円程度でできるのでは、と言う説もある。これができれば、東京駅から羽田空港へよりも、より短時間で福北を結ぶことができる。北九州の知名度が世界的に小さければ、新福岡空港の名称でも構わない。福岡空港と北九州空港の位置付け、連携のあり方、機能分担等を明確にするため、福岡県、福岡市と早急に検討の場を持つか、或いは両市の経済団体が早急に検討会を開くよう働きかけていただきたい。

3　本市には沖縄を経由してアジア４都市と結ぶ国際貨物定期便がある北九州空港があり、国際拠点港湾である北九州港を有しているのみならず、高速自動車道の九州自動車道と東九州自動車道の結節点という交通の要衝にあることから、我が国のみならず、東アジアという視点からも物流の拠点となるポテンシャルを備えていると考える。本格的な流通団地を整備するなどして、物流拠点都市を目指す積極的な施策を実施していただきたい。

4　東九州自動車道は、東九州地域はもとより、九州全体の産業や経済の一体的な発展に寄与するものであり、また、災害時には緊急輸送路として極めて重要な道路となっている。しかし、ほとんどが暫定２車線での供用であるため、対面通行による交通事故、交通事故や自然災害による通行止めなどが発生し、安全で、定時性が確保されるネットワークとしての道路としての役割が果たせていない。早期に完全な４車線化が実施されるよう、国に要望して欲しい。

5　下関北九州道路は、本州と九州を繋ぐ新たな幹線道路としてだけでなく、アジアとの交易を中心とした国際物流拠点を形成するための関門地域の一体化を図る都市間連絡道路として、非常に重要な道路である。また、関門国道トンネルや関門橋は老朽化による補修工事等のため渋滞や通行止めが度々発生しており、このような状況を解消する効果が大きく、大規模災害時における代替機能としての役割が大いに期待されている。下関北九州道路が早期に実現するよう、国に対して強く要望していただきたい。

6　国内外から観光客を誘致し、ビジターの宿泊滞在を増やして観光産業の振興を図るため、本市の世界遺産などの観光資源を生かすことは言うに及ばず、食、祭、歴史、文化、自然、体験型などのテーマのもとで、関門地域、北九州・京築、北九州・筑豊といったエリアでの魅力を創出・再発見し、観光ルートを開発して、国内外の観光客へ発信することにより、観光客の増加と本市での消費拡大につなげていただきたい。

7　「産業観光」は、ものづくりの街である本市の特徴を表した事業である。官民一体となって、現在TOTO、安川電機、シャボン玉石けんなど60箇所近くの工場見学が可能であるが、引き続き、特徴ある中小企業の発掘に努めるとともに、本市の環境施設、文化施設等とセットにして、修学旅行をターゲットにした誘致活動を行うなど、本市の特性を活か

した観光振興を図っていただきたい。

［工業振興対策］

8　関東、関西、中部地区で開催される全国規模の展示会等への出展は、北九州市の知名度向上を図るとともに、技術力や製品力を有する市内の中小企業が域外に保有する技術や製品を紹介し、販路開拓を図る上で有効な手段となっている。引き続き、各地で開催される大規模展示会への出展助成を充実して実施していただきたい。

9　市内の工業団地は、ものづくり産業の中核であるというだけでなく、工場景観として地域の顔ともなっている。さらに、近年は産業観光の振興により海外を含めて来客も多く訪れているので、工業団地内だけでなく、アクセス道路等を含めた工業団地周辺の環境整備を行っていただきたい。

10　製造業において電気代のコストが大きな意味を持つのは当然で、最近の自然災害時のブラックアウトの事態を見ても、企業はもとより停電は生活者全体の文字通りの死活問題となる。長期的にクリーンエネルギーを目指すことに異議は無いが、目先の安定した安価な電力の供給は国民生活に必須である。安全基準を満たした原発を不必要に操業を止めさせたりすることなく、原子力エネルギーもそれなりに技術革新が進むように国が指導するよう、要請していただきたい。

11　本年10月から消費税率が10％に引き上げられた。中小・零細企業が消費税を価格へ転嫁しやすい環境が損なわれ、増税のしわ寄せを中小・零細企業が被ることがないよう、消費税の転嫁拒否等の行為に対して実効性のある監視・取締りが徹底されるよう、国に対して要請していただきたい。

12　本市は、製造業が生産性を向上させるため絶えず努力を続けてきたことにより、ものづくり拠点であり続けている。これからもものづくり拠点として成長できるよう、次世代自動車産業、航空機産業、ロボット産業、環境産業、水素や風力等のエネルギー産業など、成長が期待される産業の当地拠点化を図るため、産学官連携しての取組みを推進していただきたい。

［商業振興対策］

13　スペースワールド跡地に出店予定のイオンモールは、その出店計画をこれまで明らかにしておらず、地域外からの集客、市全体の回遊性向上などへの取組み等についての地域商業団体との意見交換の場が持たれていない。市は福岡県と連係してイオンモールに対して、地域商業全体が上向くような施策を地域商業団体と協調して取り組むよう指導してもらいたい。

14　リノベーションスクールは、本市がその発祥の地であり、中心市街地の再生に非常な効果を持つことが明確になっている。来年黒崎地区で開催するとされているが、その経費は膨大で永続性への道筋が見えない。黒崎地区において、複数回リノベーションスクールが開催できるような地元主体の仕組みを構築するとともに、他地区へ水平展開できるための種を蒔き続けていただきたい。

15　プレミアム付商品券発行支援事業は、商店街にとって非常に有益な事業である。消費税増税後で消費意欲も冷え込むことが予想されることから、福岡県とも連携して、引き続き予算の確保を図るとともに、助成を拡充していただきたい。

16　小売業・サービス業を中心とする中小企業においても、生産性向上はその発展を遂げるための重要な課題である。キャッシュレス化を進めるためのキャッシュレス決済の導入促進とバックオフィスのＩＴ化を助成・支援していただきたい。

17　商店街アーケードは、ほとんどが昭和40～50年度に建造されて、老朽化が甚だ進行しているが、その改修・撤去に著しい費用がかかり手づかずにあるものも数多い。火災感知システム・非常用放送・

連結送水管などの消防設備が不備のものもあり、一旦火事になると木造家屋を中心に被害が甚大なものとなる恐れがある。市内の商店街・市場のアーケードの老朽化診断を早急に行うとともに、危険性に応じた改修・撤去に要する経費に対する補助・助成の予算を計上していただきたい。

18　商店街・市場の再生には、市内の商店街・市場の情報交換や意見交換が重要である。お互いの商店街・市場がどのような取組みをしてどのような効果を出しているかを知ることで、自らの商店街・市場の立ち位置、方向性等が明確になる。そのための恒常的な場を市に設定していただきたい。

19　小倉駅前を中心とする飲食店の客引きは、一般通行者の迷惑になるばかりか、観光客にとっては暴力団排除を推進し、都市イメージの改善に取り組んでいる北九州市のイメージダウンになっている。「小倉繁華街客引き適正化協議会」を活発化させるとともに、他の自治体のように「客引き行為等の禁止（適正化）条例」を制定して、福岡県警と連携して厳正に取り締まって欲しい。

20　小倉駅前地区商店街は歩行者用道路であり、自転車の乗り入れは道路交通法に違反しており、街内歩行者にとって非常に危険である。自転車事故厳罰化の流れもあり、迷惑行為防止巡視員を活用するなどして、福岡県警と協力して厳正に取り締まって欲しい。

21　小倉駅前地区商店街内における看板・売台・ノボリなどの公道上へのはみ出しは、目に余るものがある。街内歩行者の通行の妨げとなるばかりか、商店街の良好な雰囲気を壊している。商店街関係者も努力しているが、それにも限界がある。市は、道路管理者として、はみ出し看板・売台・ノボリなどの不法占用物件を取り締まり、改善されない物件に対しては強制的に撤去するなど、厳正に取り締まって欲しい。

22　旧小倉ホテル跡地の活用によって、本年７月に「船場広場」がオープンした。地主と北九州市との使用貸借契約における使用期間は、概ね10年間とされているものの確約されたものではない。同広場で事業をしたり計画する者にとっては、契約期間が固定されていないことから投資意欲が鈍るし、短期間に投資を回収できるよう使用料を高めに設定せざるを得ず、利用者にとって負担となる。市は、地主との契約内容を不断に見直すとともに、10年を下回った場合の地主へのペナルティ、事業者への補償についても検討して欲しい。

23　都市再生推進法人は、都市再生特別措置法に基づき市町村が指定するものであるが、これによりまちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担うものである。他の都市では、複数のまちづくり会社が都市再生法人に指定され、結果を出している。何故、本市において未だ指定されないのか理由を明示するとともに、都市再生整備計画の提案や公共空間の活用などが可能になるように、都市再生推進法人の指定を早急に進めてもらいたい。

［受注対策］

24　異常気象の影響によるものか、線状降水帯による集中豪雨などが発生し、局地的に大量の雨が降る事象が起こっている。急傾斜地の崩壊や河川のはん濫による被害は甚大となることから、防災上の観点から、道路や河川などの危険箇所の安全点検を強化するとともに、計画的・

継続的に補強・改修工事を実施していただきたい。

25　中小建設業者が、残業時間の削減や週休２日制の導入などの働き方改革を実現できるよう、工事の積算は工期、人件費、諸経費に十分な考慮をしていただきたい。

　また、自然災害による資材調達の遅れや異常気象による猛暑に起因する熱中症予防対策として、作業時間を短縮せざるを得ない場合があることなどを踏まえ、工期の延長に柔軟に対応していただきたい。さらに、夏場の異常高温や冬場の異常低温等に対し、季節に応じた人件費の割り増しを実施していただきたい。

26　「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図るとともに、引き続き、窓口の契約担当者に周知徹底していただきたい。

27　中小の建設業者にとって、工事請負契約における提出書類や工事写真などの提出物の負担は、一部改善がなされているが、まだ看過できない状態にあることから、引き続き、提出書類等の簡素化に取り組んでいただきたい。

28　行政が公共工事を発注する際、コンサルタントの設計事務所に設計図の製作を委託するが、設計者が現地の実態を把握することなく設計すると、現場での工事に支障をきたすことがある。発注者は設計図書が現地の実情に合致しているか否かを確実にチェックし、発注者、設計者、施工業者の間で意思の疎通に齟齬が生じないように配慮していただきたい。

［金融税制対策］

29　生産性向上を目指す中小企業を支援するための固定資産税ゼロ特例事業の期間は令和２年度末までの３年間となっているが、より積極的な設備投資を促すため、期間を５年間に延長するよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

30　事業所税の免税点を、資産割では1,000㎡を3,000㎡に、従業者割では100人から200人に引き上げてもらいたい。そもそも事業所税の創設の精神は、東京一極集中を排除するために東京で事業をしようとする企業に、東京では余分な税金がかかりますよ、他の地域でどうぞ、ということだったと仄聞しますが、どういう訳かそれが全国に広がってしまったと。逆に北九州市がいち早く、我が市では事業所税は頂きません、と宣言すれば、企業誘致上の有効な手段となると思うので、撤廃を望みます。既存の企業から事業所税を取って、誘致した企業に固定資産税の免除などを行うのは、極めておかしな論理だと思われる。

31　地域経済を支える中小企業等に対して行われている法人税率の軽減特例（19％→15％）は、適用期限が令和２年度末までとなっている。中小企業の経営基盤安定・強化のため、さらに期間を延長するよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

32　交際費が800万円まで損金算入できる交際費課税の特例措置の適用期限は、２年間延長されて令和元年度末までとなっている。中小企業の財務基盤の安定・強化を図るため、特例措置を更に延長するよう、国に強く働きかけていただきたい。

［労働対策］

33　市が雇用対策を重要課題と認識して力を入れ、きめ細かく様々な施策を講じていることは高く評価しているが、中小企業が抱える人手不足の状況は依然として続いている。引き続き、効果的な施策を講じることにより、地元中小企業の人材確保を支援していただきたい。

34　市内の本年８月現在の有効求人倍率は1.44倍で、人手不足は深刻化する一方で、中小企業の存立を脅かす事態となっている。人材確保支援事業の調査でも多くの中小企業が公的機関や求人誌などを通じて求人しても応募者がいないと訴えている。人材確保のための有効な支援策の立案に資するよう、引き続き中小企業を直接訪問して経営者の生の声を聴取す

る実態調査を更に拡大強化していただきたい。

35　我が国のものづくり中小企業の優れた技術・技能は、我が国産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。市内のものづくり中小企業の技術・技能、ノウハウが衰退することなく円滑に技術継承が図られるよう、人材育成の支援策を引き続き実施していただきたい。

36　中小企業における人手不足は深刻で、恒常化しつつあることから、外国人の就労を検討せざるを得ない状況である。そこで、外国人労働者・留学生に対し、就業を促すため、地元中小企業の就業情報の告知や在留資格に基づく就業条件ルールの周知などを推進するとともに、外国人労働者の雇用に関する企業向けの相談窓口を設置していただきたい。また、外国人労働者の生活支援など受入環境を整えるため、日本語教育の充実や住宅確保、医療・福祉などの相談体制の整備などを国に働きかけていただきたい。

37　近年は異常気象による災害が頻発しており、防災上からも災害時の早期復旧のためにも、建設工事の重要性が見直されている。しかしながら、建設業界には現場監督者をはじめ技術者、作業員等の人手不足は深刻で、仕事はあっても受注できない状況となっている。市民の安全・安心を図るうえからも、建設業従事者の人材の確保について支援していただきたい。

［環境対策］

38　近年の異常気象は我が国のみならず世界の多くの国々に影響を与えており、その原因の一つと考えられる地球温暖化への対策が強く叫ばれている。市は、環境にやさしい街づくりのため、低炭素社会の実現を目指し、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギー社会づくりに取り組んでいる。その方策として、地元の水素関連産業を育成するとともに、自動車の分野のみならず水素エネルギー活用の動機付けや普及促進を図っていただきたい。

39　エコアクション21の認証・登録は、中小企業にとって、環境対策への取組みを評価されるだけでなく、事業の効率化、省エネルギーなどの経営改善にも貢献するものである。エコアクション21地域事務局福岡は、啓発・普及活動や認証・登録事務を実施する機関である。導入セミナー、実践講座等の開催に対する支援のほか、これまで以上の支援策を講じていただきたい。

40　本市は国からSDGs未来都市に選定されていて、持続可能な社会への取組みの先進地として期待されている。立派な目標を掲げることに異論はないが、片や世界的な規模では国連が2015年にSDGsを設定して以後、何らの進展も見られない、との評論もある。我が市でも個別具体的な成果目標を設定して、地道な努力を進めるべきと考える。

［北中連関係］

41　本連合会は、昭和29年の設立以来、64年間、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。今後も北九州市が実施する各種中小企業施策に、市と連携し積極的に取り組む所存であるので、引き続き本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

福岡県知事へ「要望書」を提出

令和元年12月２日（月）、自見会長を始め池田、安心院、梯、富澤、安田の各副会長が県庁舎を訪問して、商工部長室において、自見会長から岩永商工部長に知事あての「令和２年度北九州地域の中小企業対策に関する要望」を手交しました。

この要望書は、北中連の４部会、１委員会において提案された要望、意見を集約し、正副会長会及び理事会で検討を加えて作成されたものです。

岩永龍治・商工部長、吉田聡・企画監の出席の下、要望書の掲載順に、景気対策のための予算確保、北九州空港の滑走路の延伸、東九州自動車道の早期４車線化、廉価な電力の安定供給、プレミアム商品券やキャッシュレス化対応への支援、異常気象による災害を防止するための道路や河川の補強・改修工事の実施、建設工事に係る提出書類の簡素化、法人税率軽減特例の延長、交際費課税の特例措置の適用期限の延長、中小企業の人材確保のための支援、外国人就労促進のための環境整備などについて説明を行いました。

なお、要望事項は９分野27項目で、次のとおりです。

令和２年度 北九州地域の
中小企業対策に関する要望

［景気対策］

1　県内事業所の99%、従業員数の約８割を占める中小企業は、本県経済の発展と活力の源である。県においては「福岡県中小企業振興条例」の基本理念に則り、中小企業が安心して事業が継続できるよう、金融、税制などを含めた総合的な中小企業施策の実施と予算の確保を行っていただきたい。

　また、国に対して、低迷している我が国経済を回復させるため、早急かつ的確な景気対策や税制改革を実行するよう、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

2　北九州空港は国土交通省から訪日誘客支援空港〔拡大支援型〕の認定も受けている。この間に、国際線・国内線、更には国際チャーター便、貨物定期便の積極的な誘致を進めると共に滑走路の延伸（3,000m化）を早期に実現するべく努力していただきたい。

　併せて、福岡県、九州全域を俯瞰すれば、欧米主要都市との定期便を持てる国際空港の設置は喫緊の課題である。現在、福岡空港が2,000億円かけて二本目の滑走路を建設中であるが、これが完成しても現在の混雑空港から一気に国際ハブ空港になるのは物理的に無理があると思われる。更なる拡大のための空港周辺の私有地の買い上げは困難を極めるでしょうし、市街地にあって便利な空港、は裏を返せば、航空機事故上危険な空港という宿命を持つ。北九州空港への軌道系アクセスの検討は北九州空港の利用者が200万人を超えてから、となっているが、そんなペースでは世界の潮流に置いて行かれるだけになろう。足立山をブチ抜いて新幹線を空港まで引き込むのは1,200億円程度でできるのでは、と言う説もある。これができれば、東京駅から羽田空港へよりも、より短時間で福北を結ぶことができる。北九州の知名度が世界的に小さけれ

ば、新福岡空港の名称でも構わない。福岡空港と北九州空港の位置付け、連携のあり方、機能分担等を明確にするため、北九州市、福岡市と早急に検討の場を持つか、或いは両市の経済団体が早急に検討会を開くよう働きかけていただきたい。

3　東九州自動車道は、東九州地域はもとより、九州全体の産業や経済の一体的な発展に寄与するものであり、また、災害時には緊急輸送路として極めて重要な道路となっている。しかし、ほとんどが暫定２車線での供用であるため、対面通行による交通事故、交通事故や自然災害による通行止めなどが発生し、安全で、定時性が確保されるネットワークとしての道路としての役割が果たせていない。早期に完全な４車線化が実施されるよう、国に要望して欲しい。

4　下関北九州道路は、本州と九州を繋ぐ新たな幹線道路としてだけでなく、アジアとの交易を中心とした国際物流拠点を形成するための関門地域の一体化を図る都市間連絡道路として、非常に重要な道路である。また、関門国道トンネルや関門橋は老朽化による補修工事等のため渋滞や通行止めが度々発生しており、このような状況を解消する効果が大きいし、大規模災害時における代替機能としての役割が大いに期待されている。下関北九州道路が早期に実現するよう、国に対して強く要望していただきたい。

5　国内外から観光客を誘致し、ビジターの宿泊滞在を増やして観光産業の振興を図るため、世界遺産などの観光資源を生かすことは言うに及ばず、食、祭、歴史、文化、自然、体験型などのテーマのもとで、関門地域、北九州・京築、北九州・筑豊といったエリアでの魅力を創出・再発見し、これらを繋ぐ観光ルートを国内外の観光客へ発信することにより、北九州地域の観光客の増加と消費拡大につなげていただきたい。

［工業振興対策］

6　製造業において電気代のコストが大きな意味を持つのは当然で、最近の自然災害時のブラックアウトの事態を見ても、企業はもとより停電は生活者全体の文字通りの死活問題となる。長期的にクリーンエネルギーを目指すことに異議は無いが、目先の安定した安価な電力の供給は国民生活に必須である。安全基準を満たした原発を不必要に操業を止めさせたりすることなく、原子力エネルギーもそれなりに技術革新が進むように国が指導するよう、要請していただきたい。

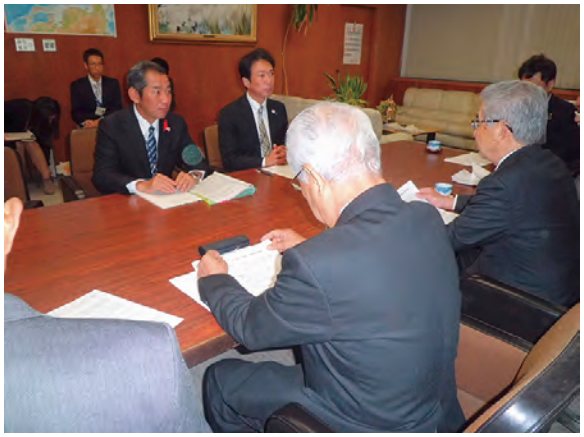
7　本年10月から消費税率が10％に引き上げられた。中小・零細企業が消費税を価格へ転嫁しやすい環境が損なわれ、増税のしわ寄せを中小・零細企業が被ることがないよう、消費税の転嫁拒否等の行為に対して実効性のある監視・取締りが徹底されるよう、国に対して要請していただきたい。

8　北九州・京築地区は、製造業が生産性を向上させるため絶えず努力を続けてきたことにより、ものづくり拠点であり続けている。これからもものづくり拠点として成長できるよう、次世代自動車産業、航空機産業、ロボット産業、環境産業、水素や風力等のエネルギー産業など、成長が期待される産業の当地拠点化を図るため、産学官連携しての取組みを推進していただきたい。

［商業振興対策］

9　プレミアム付商品券の発行は、商店街にとって非常に有益な事業である。消費税増税後で消費意欲も冷え込むことが予想されることから、引き続き予算の確保を図るとともに、助成を拡充していただきたい。

10　小売業・サービス業を中心とする中小企業においても、生産性向上はその発展を遂げるための重要な課題である。キャッシュレス化を進めるためのキャッシュレス決済の導入促進とバックオフィスのＩＴ化を助成・支援していただきたい。



［受注対策］

11　異常気象の影響によるものか、線状降水帯による集中豪雨などが発生し、局地的に大量の雨が降る事象が起こっている。急傾斜地の崩落や河川のはん濫による被害は甚大となることから、防災上の観点から、道路や河川などの危険箇所の安全点検を強化するとともに、計画的・継続的に補強・改修工事を実施していただきたい。

12　中小建設業者が、残業時間の削減や週休２日制の導入などの働き方改革を実現できるよう、工事の積算は工期、人件費、諸経費に十分な考慮をしていただきたい。

　また、自然災害による資材調達の遅れや異常気象による猛暑に起因する熱中症予防対策として、作業時間を短縮せざるを得ない場合があることなどを踏まえ、工期の延長に柔軟に対応していただきたい。さらに、夏場の異常高温や冬場の異常低温等に対し、季節に応じた人件費の割り増しを実施していただきたい。

13　「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図るとともに、引き続き、窓口の契約担当者に周知徹底していただきたい。

14　地元中小建設業の受注の拡大と専門業者育成の面からも、土木・建築工事において塗装、防水など専門業者で施工できる工事については、専門業者への分離発注に徹底的に努めていただきたい。

15　中小の建設業者にとって、工事請負契約における提出書類や工事写真などの提出物の負担は、一部改善がなされているが、まだ看過できない状態にあることから、引き続き、提出書類等の簡素化に取り組んでいただきたい。

16　行政が公共工事を発注する際、コンサルタントの設計事務所に設計図の製作を委託するが、設計者が現地の実態を把握することなく設計すると、現場での工事に支障をきたすことがある。発注者は設計図書が現地の実情に合致しているか否かを確実にチェックし、発注者、設計者、施工業者の間で意思の疎通に齟齬が生じないように配慮していただきたい。

［金融税制対策］

17　地域経済を支える中小企業等に対して行われている法人税率の軽減特例（19％→15％）は、適用期限が令和２度末までとなっている。中小企業の経営基盤安定・強化のため、さらに期間を延長するよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

18　法人事業税における資本金や従業員数等などをベースとして課税する外形標準課税は、地域経済や雇用を支える中小企業にとっては、大変な負担増となり企業経営への影響も大きいので、中小企業への適用拡大を行わないよう、国に強く働きかけていただきたい。

19　団地組合の一体化を保証するため、組合員の倒産等により、団地内不動産を組合が一時取得する場合においては、不動産取得税について減免措置を講じていただきたい。また、登録免許税については非課税とするよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

20　交際費が800万円まで損金算入できる交際費課税の特例措置の適用期限は、２年間延長されて令和元年度末までとなっている。中小企業の財務基盤の安定・強化を図るため、特例措置を更に延長するよう、国に強く働きかけていただきたい。

［労働対策］

21　県が雇用対策を重要課題と認識して力

を入れ、きめ細かく様々な施策を講じていることは高く評価しているが、中小企業が抱える人手不足の解消に対して顕著な成果が挙がっているとは言い難い。引き続き、効果的な施策を講じることにより、地元中小企業の人材確保を支援していただきたい。

22　我が国のものづくり中小企業の優れた技術・技能は、我が国産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。北九州地域のものづくり中小企業の技術・技能、ノウハウが衰退することなく円滑に技術継承が図られるよう、人材育成の支援策を引き続き実施していただきたい。

23　中小企業における人手不足は深刻で、恒常化しつつあることから、外国人の就労を検討せざるを得ない状況である。そこで、外国人労働者・留学生に対し、就業を促すため、地元中小企業の就業情報の告知や在留資格に基づく就業条件ルールの周知などを推進するとともに、外国人労働者の雇用に関する企業向けの相談窓口を設置していただきたい。また、外国人労働者の生活支援など受入環境を整えるため、日本語教育の充実や住宅確保、医療・福祉などの相談体制の整備などを国に働きかけていただきたい。

24　ものづくりの楽しさや魅力の実体験を幼児教育から積極的に採り入れ、義務教育の段階から製造業や建設業等に興味を持つような教育を実施していただきたい。

　また、厳しい経営状況におかれている中小企業では、社内で従業員を教育する資金的、時間的余裕がないため、即戦力を必要としている。特に、電気、溶接、機械、建築、土木などの基礎的な技術の習得者を企業に送り出すため、工業高校や高等技術専門校においては、業界ニーズに合致したカリキュラムの編成や定員増を図っていただきたい。

25　近年は異常気象による災害が頻発しており、防災上からも災害時の早期復旧のためにも、建設工事の重要性が見直されている。しかしながら、建設業界には現場監督者をはじめ技術者、作業員等の人手不足は深刻で、仕事はあっても受注できない状況となっている。県民の安全・安心を図るうえからも、建設業従事者の人材の確保について支援していただきたい。

［環境対策］

26　近年の異常気象は我が国のみならず世界の多くの国々に影響を与えており、その原因の一つと考えられる地球温暖化への対策が強く叫ばれている。県は、低炭素社会の実現を目指し、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギー社会づくりに取り組んでいる。その方策として、地元の水素関連産業を育成するとともに、自動車の分野のみならず水素エネルギー活用の動機付けや普及促進を図っていただきたい。

［北中連関係］

27　本連合会は、昭和29年の設立以来、64年間、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。今後も福岡県が実施する各種中小企業施策に、県と連携し積極的に取り組む所存であるので、本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

北中連 理事会・正副会長会

第３回理事会

９月25日（水）15時から北九州市立商工貿易会館５階会議室において、理事12名、監事１名の出席のもと、令和元年度第３回理事会が開催された。

自見会長が挨拶の後、議長となって議事に入り、第１号議案　各種経過報告、第２号議案　下半期行事計画、第３号議案　部会・委員会の開催報告、第４号議案　令和２年度 中小企業対策の要望書のとりまとめについて審議がなされた。中小企業対策の要望については、下関北九州道路の建設促進という項目を追加するなどして、全議案が承認された。

続いて、前年度の北九州市に対する要望の回答は北中連のホームページに掲載されていること、市からの委託事業である「人材確保支援及び正規雇用促進事業」の進捗状況が報告された。

さらに、11月７日（木）に鹿児島市で開催される第71回中小企業団体全国大会への参加を呼び掛けて、理事会を閉会した。

第４回理事会

12月10日（火）18時から稚加榮小倉店において、理事15名、監事２名の出席のもと第４回理事会が開催された。

自見会長が議長となって議事に入り、各種経過報告、福岡県及び北九州市に対する令和２年度中小企業対策の要望活動の報告などについて、説明及び質疑等を行い、全て承認された。

理事会終了後、引き続き、柴田泰平 市産業経済局雇用・生産性改革推進部長、北中連顧問の小野寺隆 商工中金北九州支店長など６名の来賓をお招きして交流会を行い、和やかな雰囲気の中で情報交換と交流を深め、池田副会長の中締めで閉会した。

9/25　理事会

第２回正副会長会

９月25日（水）14時30分から北九州市立商工貿易会館７階会議室において、自見会長、池田、安心院、梯、富澤、安田の各副会長の出席のもと正副会長会が開催され、自見会長が議長となり審議に入った。

理事会に提出する議案を審議、承認の後、理事会においては、県及び市に対する中小企業対策の要望について提案された意見を積極的に受け入れること、中小企業団体全国大会への参加を呼び掛けることなどが確認された。

9/25　正副会長会

工　業　部　会

７月26日（金）16時30分からホテルニュータガワの会議室において、委員15名、オブザーバー５名が出席して、工業部会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の片山二郎係長から「令和元年度工業関係の主な施策について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望活動の経過報告及び回答について種々説明がなされ、続いて令和２年度要望について意見交換が行われた。

そのなかで、中小企業は具体的に目標を数値化して取り組むことにより生産性の向上を図らなければならない、福岡県は近々に生産性向上支援センターを立ち上げることになっている、テロ対策で原子力発電所が停止して電気料金が上がるのは困る、行政の助成制度は対象を先端技術などに限定せず既存設備の更新により生産性を上げるものも認められるようにしてほしい、自分の企業が現実に悩んでいる問題を解決するにはどうあったら良いかをベースに要望を出すことが大事である、などの意見や情報提供などが行われた。

商業部会／サービス業その他業種部会

７月23日（火）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員３名、オブザーバー５名の出席のもと商業部会とサービス業その他業種部会が合同で開催された。

開会に先立ち市産業経済局商業・サービス産業政策課の原信二郎係長から「令和元年度予算概要（商業施策）について」、上野係長から「令和元年度予算概要（サービス産業施策）について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

続いての意見交換では、小倉駅周辺での客引き行為が本市のイメージを悪くしているので取締りを強化して欲しい、スペースワールド跡地でのイオンモールの商業施設の規模等が全く分からないのは問題だ、商店街内の自転車の走行は危険なので取締りをして欲しい、店頭からはみ出して道路を不法に占用しているものに対してペナルティを与えるべきである、市が黒崎で実施するリノベーション事業に対応する組織はあるのか、といった意見や質問などが提出された。

建設関連部会

７月22日（月）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員４名、オブザーバー４名が出席して建設関連部会が開催された。

部会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の片山二郎係長から「令和元年度建設関係の主な施策について」の説明を受けた。

会議では昨年度の県・市に対する要望の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

続いての意見交換では、大規模工事に限らず働き方改革対応として工期の延長や積算単価の見直しをしてもらいたい、手続きや竣工書類等の提出書類を簡素化して欲しい、設計図書が現地の状況を反映していないときがある、する県においては分離発注を徹底してほしい、国の補助金との関係があるのは理解しているが発注時期をできるだけ平準化してもらいたい、など公共工事に関するもののほか、建設業界の人手不足は深刻でとびや鉄筋工事での危険な作業現場に外国人が多く見られる状況になりつつある、といった要望や意見が出された。

金融税制委員会

７月22日（月）15時00分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員５名、オブザーバー５名が出席して、金融税制委員会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の北野慎二係長から「市の融資制度について」、㈱商工組合中央金庫北九州支店の市川忠秀支店長から「商工中金の融資について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

意見交換では、消費税引上げに伴うインボイス制度の導入は影響が大きそうだ、交際費が800万円まで損金算入できる交際費課税の特例措置は期限を延長して欲しい、消費税ポイント還元が実施されるなどキャッシュレス決済への対応に商店街は手探りの状態だ、事業所税を徴収しないことで事業所を誘致するという大胆な発想は面白いのではないか、税制度は法令で定められているものが多いので国への要望ということになり手応えが薄い、などの要望や意見が出された。

第71回中小企業団体全国大会

11月７日（木）、全国から中小企業関係者約3,000名が参集して「新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来　～時空を超えて 舞台は鹿児島から～」をテーマに第71回中小企業団体全国大会が鹿児島市の鹿児島アリーナにおいて開催された。

多くの歓迎挨拶及び来賓祝辞の後、議長（１名）副議長（２名）を選任して議事に入り、「Ⅰ 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充（持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化、生産性向上に向けた人材育成の強化、地方創生推進に向けた対策の強化、事業承継・後継者育成支援策の拡充と組合支援措置の強化、中小企業組合・中央会に対する支援の拡充）」、「Ⅱ 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「Ⅲ 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充」、「Ⅳ 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備（中小企業金融施策等の拡充、中小企業・組合税制の拡充、中小製造業等の持続的発展の推進、エネルギー・環境対応への支援の拡充、卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充、サービス業支援の強化・拡充、官公需対策の強力な推進、海外展開に対する支援の拡充、公正かつ自由な競争の確保）」など26項目が決議された。

続いて、今回の大会の意義を内外に表明する大会宣言が読み上げられ、決議事項の早期実現を国等に強く求める一方、我々中小企業団体も新たな令和の時代を切り拓くため、積極的に行動することを謳った大会宣言が採択された。

また、優良組合（34組合）、組合功労者（86名）、中央会優秀専従者（22名）の表彰も行われ、次回の大会は令和２年10月22日に茨城県水戸市にて開催されることが決定した。

なお、この大会には北中連からは自見会長、池田副会長、安心院副会長と事務局から１名が参加した。

左から自見会長、安心院副会長、池田副会長

地域経済懇談会

令和元年８月５日（月）15時からアートホテル小倉ニュータガワにて、令和元年度地域経済懇談会（北九州地区）が、県商工部、県中央会、商工会連合会北九州支部、北九州商工会議所、北中連などから46名が出席して開催された。

懇談会は、藤野久長・県北九州中小企業振興事務所長の開会の挨拶に続いて、岩永龍治・県商工部長が挨拶をされた後、懇談会に入った。

初めに、福岡県における中小企業振興施策の取組みとして、①「事業承継支援」（中小企業振興課）、②「中小企業技術・経営力評価制度　シンプル型プラン創設」（新事業支援課）、③「中小企業生産性向上支援事業」（中小企業技術振興課）について、資料により説明がなされた。

続いて、北九州地域中小企業支援協議会の重点支援企業の取組事例として、株式会社ふじの代表取締役社長後藤祐平氏及び株式会社ウィンドファームの代表取締役中村隆市氏から、ユニークな弁当の商品開発事例と有機栽培カフェインレスコーヒーづくりの取組みについて発表された。

各団体からの意見・要望及び意見交換では、北中連の自見榮祐会長から「外国人労働者の受け入れに対する支援について」、同じく梯輝元副会長から「商店街に対する支援策の充実強化について」を要望した。また、県商工会連合会北九州支部会長会から「プレミアム付きキャッシュレス商品券事業（仮称）の検討について」、「事業継続力強化支援体制について」、「創業補助金等の各種小規模事業者向け補助金等の拡大について」、「東九州自動車道の４車線化について」の要望がなされ、北九州商工会議所から「プレミアム付き商品券発行事業の継続と支援の拡充について」、「地域中小企業チャレンジ応援補助金の拡充について」、「経営革新支援関連施策の充実について」の要望がなされた。

その後、各担当課長などから総括的な回答が述べられ、引き続き意見交換となり、最後に岩永龍治・県商工部長が、プレミアム付き商品券の事業は消費税増税の消費の低迷の具合を見ての判断となる、プレミアム付きキャッシュレス商品券事業は検討課題とさせてほしい、などと全体的なまとめを話され、閉会した。

懇談会終了後、同ホテルにて北中連主催による懇親会が開催され、自見榮祐・北中連会長の挨拶、岩永龍治・県商工部長の祝辞、安部喜美雄・商工会連合会北九州支部会長会会長の乾杯の音頭で始まり、和やか中に活発な情報交換がなされた。

最後に、二郎丸聡夫・北九州商工会議所理事が中締めを行い、盛会のうちに閉会した。

地域経済懇談会

先進企業視察（兵庫県）

福機連北九州支部

福岡県機械金属工業連合会北九州支部は、福機連本部及び北中連工業部会の支援を受け、技術開発、作業改善、生産管理など企業経営の参考に資するため、先進企業視察を行っています。生産現場を実際に見て、経営者や技術者などと直接意見交換することにより、具体的に一層深く知識を習得できると、参加者から好評を得ています。

今年度は、11月21日・22日に㈱商工組合中央金庫の紹介で竹内鉄工㈱（西脇市）と伊福精密㈱（神戸市西区）を視察しましたので、その概略を紹介します。

◆竹内鉄工株式会社

会社概要

商　　号　竹内鉄工株式会社
資 本 金　2160万円
所 在 地　兵庫県西脇市板波町127-2
電　　話　0795-22-3149
F A X　0795-22-1586
メ ー ル　takeuchi@t-takeuchi.co.jp
創　　業　大正４年４月　　設立　昭和28年４月
従業員数　60人
業務内容　鉄道車両用部品加工、自動搬送システム用部品加工、プラント関係部品加工

社　　歴

大正４年現代表者、竹内俊行の祖父竹内喜太郎が野鍛冶を開始、昭和28年頃まで、地場産業の織機の改良及び、修理部品の製作をする。その間織機関係の実用新案を２件取得する。

昭和28年４月　資本金40万円で有限会社竹内製作所を設立、代表取締役社長に竹内喜太郎就任、８尺旋盤２台、12尺旋盤１台等を購入しテーブルローラー等の旋盤加工を始める。

1953年　４月　㈲竹内製作所設立
1956年　６月　日本エヤーブレーキ㈱と取引を開始。
1963年　10月　新日本工機㈱と取引を開始。
1964年　４月　竹内喜太郎に代わり竹内喜一が代表取締役社長に就任する。
1964年　７月　川崎車両㈱（現川崎重工業車両カンパニー）と取引を開始 。
1969年　６月　竹内鉄工㈱と名称を変更する。
1973年　４月　川崎油工㈱と取り引を開始。
1982年　10月　㈱椿本チェインと取引を開始。
1991年　８月　住友金属工業㈱と品質保証協定を締結し、取引を開始。
1991年　９月　神戸製鋼㈱と原子力部品機械加工における品質保証協定を締結し、機械加工認定工場に認定される。
1995年　４月　竹内喜一に代わり竹内俊行が代表取締役社長に就任する。
2000年　７月　住友電工㈱と品質保証協定を締結、取引を開始。
2003年　10月　日本車輌製造㈱と取引を開始。
2004年　１月　㈱日立製作所と取引を開始。
2004年　12月　近畿車輌㈱と取引を開始。
2006年　12月　舟戸工場建設。
2007年　12月　川崎重工業車両カンパニーよりNYCT溶接認定（AWS資格者６名）を受け、部品溶接を開始。
2013年　６月　舟戸機械工場建設　鉄道車両用ブレーキディスク機械加工ライン稼働。
2015年　６月　名神高周波工業㈱買収　高周波焼き入れ事業開始。
2018年　12月　舟戸機械新工場増設完了　最新五軸加工機導入。

地域未来牽引企業に選定

2018年12月25日に経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定された。

地域未来牽引企業とは、2017年７月31日に施行された「地域未来投資促進法」に基づいて選定されているもので、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開すること、または、今後取り組むことが期待される企業を指す。

地域未来牽引企業
経済産業省

竹内鉄工株式会社の製品・技術・サービス

台車枠
ＪＲ各種軸箱体
軸箱前蓋，後ろ蓋
ブレーキ調整棒
防塵盤
ハンガー
アルミ箔巻き取り用スプール
原子力発電所向けポンプ部品
台車枕はり
ブレーキライニング組み立て
制輪子頭
各種シャフト
搬送用精密位置決めパッレト
トンネル掘削機用油圧シリンダー
各種シリンダー
各種テーブルローラー
新幹線軸箱体（輪軸ベアリング受け）
ＪＲ各種中心ピン
各種ダンパー受け
スプロケット
着脱機（全部品）
油圧プレス用タイロッド

各工場の配置

西脇市は、東経135度、北緯35度に位置していることから「日本のへそ」と称している。この西脇市の板波町を流れる加古川と県道17号線に挟まれた土地に工場が分散して設置されている。

第一工場

大型汎用加工機などを使用して、大型内外径旋盤加工、キー溝切り、大型ボーリング加工等を行っている。

大型内外径旋盤加工

キー溝切り

大型ボーリング加工

第二工場

大型ターニングセンタ、横型ロングＮＣ旋盤などを使用して、ねじ切りなどの外径加工、キー溝切り、キータップ加工等の歯車加工などを行っている。

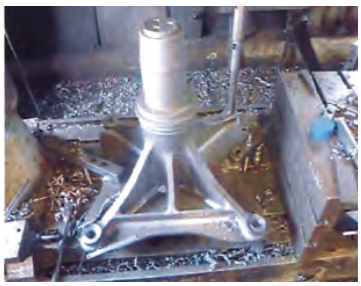
Neo-14（㈱オーエム製作所）

ＬＨ－５５（オークマ）

キー溝切り

第一・第二工場における製品は、多種多様なスプロケット（歯車）、中心ピン（メトロ東西線）、内外径加工品などである。

多種多様なスプロケット（鎖車）



中心ピン（メトロ東西線）

内外径加工品

第三工場

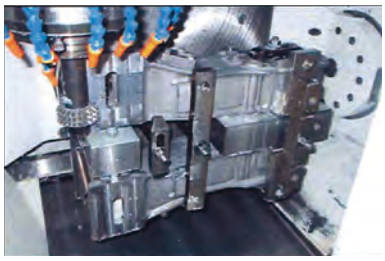
大型マシニングセンタを使用して、高速用軸箱体や取付腕等を製造している。

MA600H（㈱オークマ）

ＭＢ５６ＶＢ（㈱オークマ）

MU-6300V（㈱オークマ）
５軸加工機

中国高速用　軸箱体（アルミ製）



取付腕（５軸加工）

舟戸工場

溶接作業（ロボット溶接も導入）や塗装作業を行っているほか、機械工場部分ではＮＣ立旋盤、ＮＣ横旋盤、五軸加工機、門型５面加工機などを使用して、鉄道車両用ブレーキディスク、機関車用ブレーキ、航空機部品（脚）、特殊用途部品等を製造している。

各種溶接資格を取得している

門型５面加工機
ＲＢ２Ｍ（新日本工機㈱）

２スピンドルＮＣ旋盤
２ＳＰ－Ｖ６０（㈱オークマ）

ブレーキディスク

機関車用ブレーキ

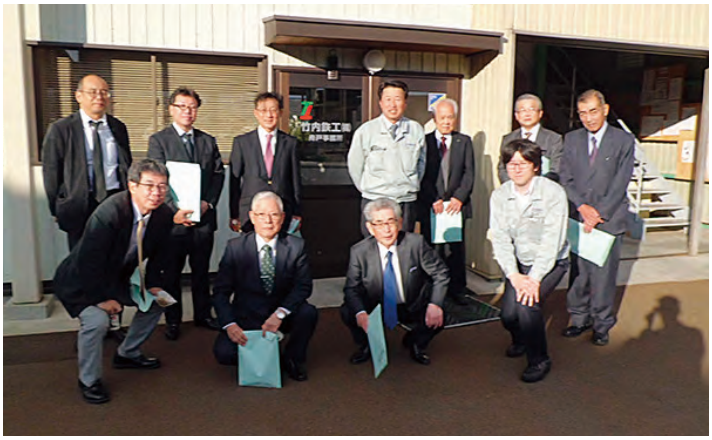
ニューヨーク地下鉄　ブラケット

竹内鉄工（株）は、川崎重工業㈱との取引を通じて車両用台車部品加工などで技術を磨き、その技術力を背景に取引先を増やし、鉄道部品の量産化にも対応して、車両関係部品で強みを発揮しているのみならず、潜水艦、航空機部品等の新規分野にも進出している。

社内では、派遣会社を通じて、外国人労働者としてベトナム人16人が働いている。安全に対する取組みとしては、毎月安全委員会を開催している。

設備投資にあたっては、平成24・25・26・27・30年度とものづくり補助金を積極的に活用している。

また、兵庫県立大学、但馬技術大学、兵庫県にある公益財団法人・新産業創造研究機構と産学官連携として共同研究にも取り組んでいる。



竹内鉄工（株）船戸工場の事務所前にて

◆伊福精密株式会社

会社概要

社　　名　伊福精密株式会社
創　　業　1970年６月
設　　立　1980年８月
資 本 金　5,000万円
代　　表　代表取締役社長　伊福元彦
営業内容　各種試作品・量産品の製作、冶工具・金型の設計製作
　　難加工材の工法開発、新素材の加工方法の研究
　　製品測定事業
事業所所在地　本社・本社工場　兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和字西ノ口750番地６
　　TEL：078-978-6760　FAX：078-978-6761
工　　場　本社工場・・・・2500㎡（鉄筋造り恒温設備有）
従業員数　34名（2015年10月末現在）
取引銀行　三井住友銀行・商工中金・阿波銀行・山陰合同銀行
主要取引先　住友電工焼結合金株式会社　　株式会社神戸製鋼所
　　Ｃ.Ｃ.Ｉ.株式会社　　株式会社アライドマテリアル
　　株式会社カコテクノス　　共栄ゴルフ工業株式会社　他（順不同）

沿　　革

1970年　６月　神戸市長田区長楽町2-2-12にて、旋盤加工業として「伊福工作所」を個人創業。
1980年　８月　資本金200万円にて法人組織に改組、社名を「伊福精密株式会社」とする。
1982年　２月　資本金700万円に増資する。
1994年　11月　資本金1,000万円に増資する。
1999年　３月　伊福元彦　代表取締役に就任。代表者２名制にする。
2000年　６月　本社工場を神戸鉄工団地に移転。
2003年　３月　伊福 保　会長に就任。伊福 元彦　代表取締役社長に就任。
2003年　５月　第二工場の稼働。
2004年　６月　海外技術指導事業開始。
2005年　11月　ベトナム人技術者受入事業を開始。
2005年　12月　ISO9001の認定。
2006年　１月　兵庫県知事認定「経営革新」事業所の認定取得。
2010年　10月　中国工場を設立（個人創業）。
2012年　２月　中国人研修受入開始。
2013年　12月　「神戸発・優れた技術」認定（10年更新）。
2014年　２月　中国工場の株式移転による完全子会社化。
2018年　２月　本社新工場の稼働。

会社方針

a）顧客満足度を最優先への改善
b）会社の健全化、健全な利益を確保出来る体質強化
c）変化への対応力向上とスピードアップ

品質方針

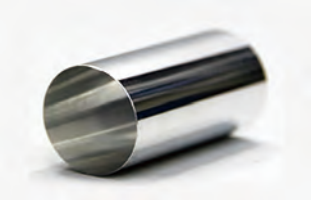
顧客第一主義
　製品の必要機能を満足し、かつ顧客満足を第一主義とする。
品質マネジメントシステムの遵守
　製品品質に関する全ての者は、品質マネジメントシステムに規定されている事項を遵守し継続的改善をはかる。
品質クレームの撲滅
　顧客から品質クレームはもちろん社内の前後工程からの品質クレームに対しても、その撲滅を目指す。

伊福精密の5つの強み

1 超微小・超微細加工が得意

長年自動車メーカーとの取引で培った高い切削加工技術と計測技術で、精密加工を得意としている。「より薄く」「より速く」「より高精度に」を目指して取り組んでいる。

ステンレスの円筒にドリルで0.1mm径の孔を縦・横・斜めに580個開ける技術を持っています。

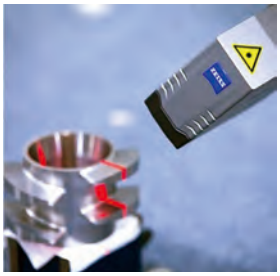


薄さ0.1mmのアルミの円筒の表面を鏡面加工で磨き上げた「うすぴか」は、第4回切削加工ドリームコンテストで「金賞」受賞！

2 精度保証に裏付けあり

独ツアイス社製の三次元測定器やあらゆる計測機器を活用し、加工物をミクロン単位で計測、チェックしている。顧客企業に替わって品質保証、品質向上を手助けする。

独ツアイス社製の三次元測定器で、加工品の表面仕上げをチェック



ミクロン単位での計測が可能

3 多品種小ロットに完全対応

試作品用途や少量の機械製作のため、少量のご発注ロットをご希望の顧客に向けて、多品種・小ロットに完全対応している。最新の機械設備を活用し、コストを抑えて対応している。

小ロットの試作にも対応している。

自動車用部品3Dプリンターで樹脂製の試作品を作り（右）、検証後に、完成品の製造を行います。

4 リバースエンジニアリング

ものづくりにおけるリバースエンジニアリングとは、製品の先行イメージとして作られたクレイモデルや、既に現物がある製品などの形状データを測定（スキャニング）し、それをもとにCADデータを作成することである。３次元測定器や３次元スキャナで製品または現物を測定し、忠実に再現する。様々な工法や素材で製作が可能である。

３Dデータはないが実物があるという場合に利用できる。摩耗した金型修復や、3Dモデル製作なども低コストおよび短期間で対応が可能である。高精度な３次元測定機や３次元スキャナで製品または現物を測定し、忠実に再現する。

1. レーザースキャナーによる実物計測
（最大測定可能範囲 φ600 ㎜、高さ 500 ㎜以内）
2. スキャニングデーター（点群データ）のモデル化
（Geomagic Design X:3DSYSTEMS によるデーター変換）
3. CAD ソフトによるモデルの修正と局面のチェック
（Solid Works）
4. 3D プリント専用ソフトによる (Magics:Matrialise)STL 変換
5. 3D 金属プリンターによる造形
6. 造形物をレーザースキャナーで読み込み
7. 測定データーと基本データーを比較マッチング検査
（Geomagic Design X:3DSYSTEMS によるマッチング計測）

5 金型レスのモノづくり

ワイヤーカット加工、型彫放電加工、NC細穴放電加工及びマシニングセンタ、切削加工機を駆使し、各種材料での精密加工品、金型部品加工を行っている。高度な放電加工技術により、微細加工から、手のひらサイズ加工、あらゆる特殊精密加工に対応している。業界でも追随を許さない「高い切削加工技術」と3Dプリンターでの金型レスのモノづくりで顧客の困った問題を解決する。

伊福精密の3D金属造形設備

ソデック社製 OPM250L

ComceptLaser 社製 Mini-LabR

3D金属造形サービス

3D金属造形技術が世界の製造業において起爆剤になるかもしれないと注目を集めている。従来の切削加工では対応できなかった精密で繊細な加工が可能となり、かつ金型を必要とせず、スピーディに試作段階に入れるとあって、未来のモノづくりの大きな期待を背負っている。

伊福精密は、日本における3D金属造形技術の第一人者となるべく最新の技術を追い続け、金属造形加工に関するあらゆる要望に、全方位的に応えるべく努力している。

3D金属プリンター事業のビジネスターゲット

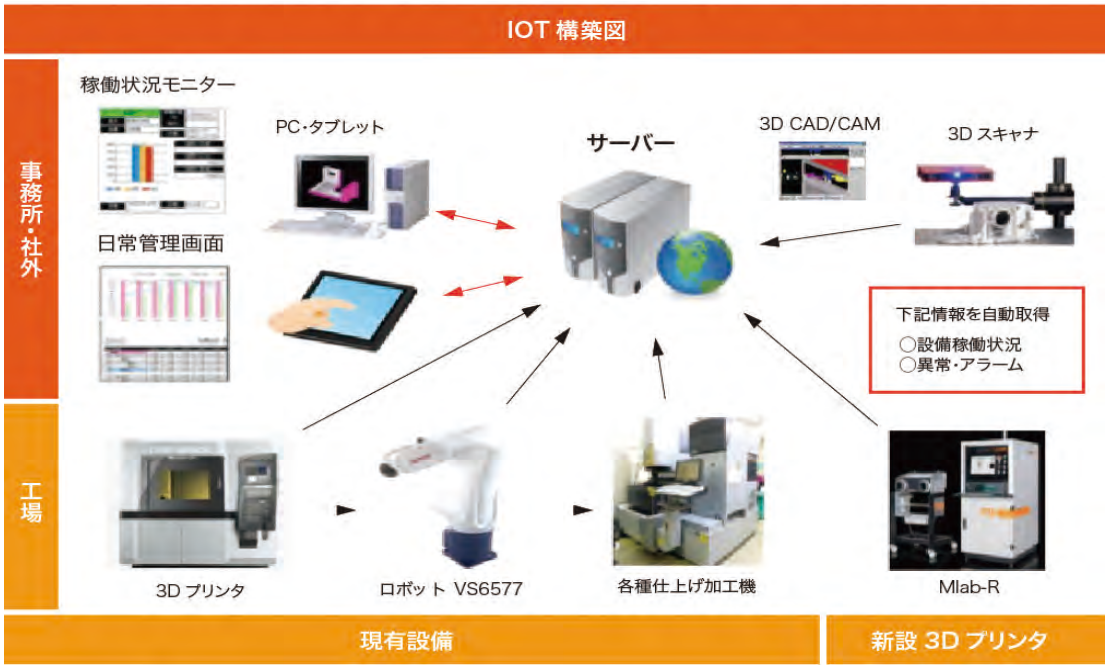
金型なしの3D金属プリンターは、高コストではあるので、大量生産でないとペイしないという問題もあり、これまでは試作やモックアップへの活用が多かった。しかし現在、デジタルデータから直接製品を生産する工法の導入が進み、3Dプリンターが活躍する領域はますます広がりを見せている。

そのような中、特に注目を集めているのが、3Dプリンターにより金属部品を直接製造するDMP（ダイレクト・メタル・プリンティング）である。高性能かつ現場でのオペレーションもスムーズな「金属粉末焼結3Dプリンター」が登場したことにより、従来の切削や成形ではできなかった構造を作れる新しい製造プロセスが普及し始めている。しかも、航空宇宙産業や自動車産業、医療といった高いレベルの品質が求められる分野で、一早く3D金属プリンターの導入が進んでいる。

伊福精密は英語とドイツ語のパンフレットをホームページに公開し、それなりに世界から引き合いがあるという。

“伊福精密が目指すデジタルファクトリー” ＆“金型レスものづくり”

伊福精密では、3D造形データや３次元測定結果、従来の切削機械の切削加工データや図面データ等を全て、自社サーバーで一元管理できるインフラシステムを構築していくとしている。全ての機械設備やデジタル機器がインターネットで繋がることで、IOTものづくり体制の構築を目指している。



デジタル倉庫サービス

デジタル倉庫サービスでは、製品をデジタルデータ化し管理を簡素化する。これにより、金型の保管・管理に伴う、様々な負担から解放される。部品が必要な場合はいつでも金属3Dプリンターで復元することができる。

金属3Dプリンターは、500W Ybレーザーを搭載する高精度マシーン「OPM250L」や多種素材を扱え、エンドユースパーツも製造可能な「Mini-LabR」を導入しており、多彩な材料で造形できる。

伊福精密株式会社は、3D金属造形に力を入れており、IoTものづくり体制の構築を目指していることもあり、社員全員が3DCADや3Dプリンターの利用者資格を持つことを奨励している。試験に合格したら手当に反映され、給与の待遇がよくなるという。

なお、同社は、中国江蘇省昆山市に100%出資の子会社「昆山伊福谷精密机械有限公司」を持っている。2010年10月の設立で、マシニングセンタ20台、CNC旋盤８台などの設備を有し、主要生産品は航空機内装用金属部品55%、半導体製造装置部品35%、医療機器金属部品10%である。

伊福精密株式会社　正面玄関にて

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

神戸市にて卓話会も開催

11月21日、視察一日目の竹内鉄工株式会社の視察を終えた後、神戸市灘区の神戸ベイシェラトンホテル＆タワーズ４階の会議室にて、17：00から18：00まで卓話会を開催しました。講師には神戸市経済観光局工業課振興係長の橋本暁彦氏を招き、神戸市の中小製造業に対する支援施策について紹介していただきました。

人材確保・育成、販路・取引拡大、後継者問題、設備等の導入・更新、技術・新商品開発、成長産業への参入、海外ビジネス等についての支援策の講師の説明を聞いた後、参加者からの質問に対し、神戸市は人口減少数が全国最大であること、大学や学生数は多いが地元就職率は芳しくないことなどの問題を抱えており、これらの状況を打開するため、神戸市産業振興財団とも連携しながら、有効な施策を模索しているとのことであった。

通常総会・卓話会・交流会

福機連北九州支部

７月26日（金）17時30分から、アートホテル小倉ニュータガワ会議室において、福機連北九州支部の令和元年度総会・卓話会・交流会が開催された。

総会議事では平成30年度事業報告、収支決算及び監査報告に続き、令和元年度事業計画案及び収支予算案が上程され、何れも原案通り可決承認された。

引続き行われた卓話会では、梅田秀彦・日本銀行北九州支店長を講師に招き、「内外経済情勢について」をテーマに話していただきましたので、その骨子を紹介します。

《海外経済情勢》

・IMF（国際通貨基金）の2019年の世界経済見通しは3.2%で、これは先進国、新興国・途上国ともに前年実績を下回っており、減速すると予想している。
・世界経済の減速の主な要因は、中国経済の減速、米中貿易摩擦、英国のEUからの合意なき離脱等である。

《国内経済情勢》

・日本銀行は４月に2019年度の我が国の実質GDPは0.8%と発表した。
・６月短観によると、製造業の景況感は悪化している。特に金属製品、生産用機械、自動車等でマイナスの変化幅が大きい。
・非製造業は景況感が良くなった。しかし、消費税増税前の駆け込み需要の収束等の懸念から、先行きは悪化している。
・売上は、前年比で+1.1%だが、経常利益は-4.3%となった。
・設備投資は、全規模合計では+2.3%だったが、中小企業は-9.3%だった。ただし、中小企業においても、ソフトウェア投資額や研究開発投資額は上方修正だった。
・雇用は、有効求人倍率が高くて失業率が低いという、逼迫した状況が続いている。

《北九州経済の動向》

・業況判断指数（D.I.）は全産業において２期連続で悪化した。製造業、非製造業ともに悪化したという特徴がある。
・その要因は、製造業にあっては中国経済の低迷による中国向け輸出の減少であり、非製造業にあっては人手不足に伴う経費上昇である。
・売上高は増加、設備投資も２年連続して前年比２桁の増、輸出は弱めの動きであり、個人消費は振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

《北九州の消費活性化に向けて》

梅田支店長が関係資料を基に分析し、活性化策を提言してくださいました。

・付加価値を高めるため、IT産業などの誘致や第３次産業の振興が必要である。
・経営者は付加価値を増やして、労働分配率を上げることが望まれる。
・可処分所得を増やすためにも、女性の就業を促す環境づくりを行うこと。
・イベントなどを活用して、コト消費を継続的に刺激すること。
・周辺の消費取込みに向けた北九州らしい魅力ある商品サービスの提供やおもてなしの雰囲気づくりが求められる。

卓話会終了後、多くの来賓の出席の下、交流会が開催され盛会裏に終了しました。

福機連総会・卓話会

北中連からのお願い

北九州市委託
「市内中小企業の人材確保支援及び正規雇用促進業務」への協力について

私ども北中連では、今年度も標記業務を北九州市から受託し、実施しています。

調査員が会員の企業様へ電話連絡のうえ、直接企業訪問をさせていただき、ヒアリングによるアンケート調査を行いますので、ご協力をお願いします。

事業目的

市内の有効求人倍率は1.38倍（本年4月時点）と求人難が続き、市内中小企業の人材不足は深刻な問題となっており、「人手不足」の相談も多く挙がっている。また、「働き方改革」が具現化することにより、企業としての対応も必要になってくることが予想される。

そこで、市内中小企業の経営者層と緊密に情報交換を行い、企業が抱えている課題の把握、企業に対して市内求職者の状況や市の取組み等の情報提供を行うことで課題解決に取り組むとともに、国等が実施する正規雇用化に関する助成制度等の情報提供や相談に応じることにより正規雇用促進の支援に寄与する。

事業の流れ

調査員がアポイント → 訪問 → 企業にて面談・情報の交換 → 事務局にて報告書作成 → 提出 → 市

事業実績

事業実績は以下の通りです。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30	33	35	33	31	27	41	37	36	37	37	32	23	402
令和元	30	36	38	40	41	40	32	30	31				318

先端設備等導入前に、先端設備等導入計画の認定を！！

固定資産税ゼロ特例事業（先端設備等導入計画）受付のご案内！

北九州市では、市内中小企業者の労働生産性向上を目的に、先端設備等導入計画の認定を行っています。この認定を受け一定の要件を満たした場合、固定資産税ゼロ特例等を活用することができます。

先端設備等導入計画の概要は以下の通りです。

この制度を利用いただくためには、「先端設備等導入計画」の※1 事前認定が必要です。

（1）先端設備等導入計画の概要

中小企業者が策定した①一定期間内（3～5 年）に、②労働生産性を年平均 3%向上させるための、③先端設備等（生産、販売活動等の用に直接供される減価償却資産：一定の要件あり）の導入計画を本市が認定し、各種支援メニューを活用することができる制度。

①一定期間とは：３年間、４年間又は５年間

②労働生産性の計算方法：（営業利益+人件費+減価償却費）/労働投入量（労働者数又労働者数×1 人当たり年間就業時間）

③先端設備等とは：労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される設備（機械装置、測定工具及び検査工具、器具備品、建物附属設備、ソフトウェア）。

（2）先端設備等導入計画の認定を受けらる方

中小企業等経営強化法第 2 条第 1 項にあげる中小企業者の内、一定の要件を満たした方。但し、固定資産税ゼロ特例を利用できるのは、資本金 1 億円以下の法人、従業員数 1,000 人以下の個人事業主等（大企業の子会社を除く）。

（3）計画の認定を受けた場合の効果

①認定を受けて導入した先端設備等の固定資産税が３年間ゼロ（固定資産税ゼロ特例）

②国の各種補助金（ものづくり・サービス補助金等）における優先採択

③民間金融機関から融資を受ける際の信用保証協会による信用保証のうち、普通保険等とは別枠での追加保証。

※1 先端設備等導入計画認定後に先端設備等を取得することが【必須】です。

〔受付時間〕　８：３０～１７：１５（土日・祝除く）
〔受付場所〕　北九州市産業経済局中小企業振興課
（戸畑区中原新町２番１号　北九州テクノセンタービル１階）

相談ブース

※申請方法・申請書様式等は、中小企業振興課ホームページをご覧ください。

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10700243.html

固定資産税ゼロ特例事業　北九州市　**検索**

【問い合わせ先】　北九州市産業経済局中小企業振興課　　TEL：093-873-1433

北九州市の就職支援事業のご案内！

－　人材確保に是非ご活用ください。－

利用無料

U・I ターン 北九州 KITAKYUSHU-CITY

－ 市内就職希望者多数登録しています －

就職者数：2,000 人超
（H2 年度からの累計）

北九州で働こう！U・I ターン応援プロジェクト

http://www.shigotomarugoto.info/ui-turn　北九州市　Uターン　検索

全国のＵ・Ｉターン就職希望者と、即戦力をはじめとする人材の確保を目指す市内企業とを結び付ける職業紹介等の事業です。ＨＰより登録すると、登録者の情報検索、面接案内の送付、面接エントリーの受付等が可能です。【求人募集できる雇用形態：原則、正社員（常用雇用）】

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する企業（今後進出予定の企業を含む）

求職者　北九州市内へのＵ・Ｉターン就職希望者

北九州市Ｕ・Ｉターン応援オフィス

場　所：ＡＩＭビル２階　　開所時間：月曜～土曜　10:00～18:00

お問合せ　TEL：0120-0823-46　E-Mail：ui-turn.syoukai@shigotomarugoto.info

---

経験豊富なシニア人材の
就職者数：30人（R1.11.30 時点）

－ 首都圏企業からの人材還流を支援します －

シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト

北九州市にゆかりのある首都圏企業の役職定年者や退職者のうち、北九州市でのセカンドキャリアを検討されている方と、市内企業の人材ニーズを結びつけ、シニア・ハローワーク戸畑等と連携してマッチングする取り組みです。概ね５０歳以上のキャリア・知識を持つ人材のご活用を検討される企業へ「シニア求人支援員」がお伺いします。

お問合せ　シニア求人支援員（北九州市高年齢者就業支援センター）　TEL：093－882－5400

WorkPlaza 若者ワークプラザ北九州

－ 若者の採用なら －

若者ワークプラザ北九州

就職者数：1,360 人（H30 年度実績）

http://www.shigotomarugoto.info/wakamono/index.php

概ね 40 歳までの若年求職者を対象とした、北九州市が設置する就職支援の窓口です。カウンセリングや就職情報の提供、スキルアップセミナー等によるミスマッチの少ない職業紹介を行っています。【求人募集できる雇用形態：正社員（常用雇用）や契約社員、パート等】

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する企業（今後進出予定の企業を含む）

求職者　正社員、契約社員・パート・アルバイトなどをお探しの方

お問合せ　若者ワークプラザ北九州　TEL：０９３－５３１－４５１０

今後の「合同会社説明会」開催スケジュール

令和2年3月18日（水）　11：00～16：00

《対象》２０２１年春卒業予定の大学生等、既卒者・再就職者

《会場》西日本総合展示場　　《主催》北九州市、北九州商工会議所、北九州・下関まなびとぴあ

※問合せは、北九州市雇用政策課　ＴＥＬ：０９３－５８２－２４１９

取り組んでいますか？「働き方改革関連法」

2019年4月1日から「働き方改革関連法」が順次施行されています！

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（＝改正法）」が
平成３０年７月６日に公布されました。改正法の大きなポイントは次の３点です。

POINT 1　時間外労働の上限規制への対応！

（施行：2019年4月1日～ ※中小企業は2020年4月1日～）

時間外労働の上限について、**月４５時間、年３６０時間を原則**とし、
臨時的な特別な事情がある場合でも年７２０時間、単月１００時間未満（休日労働含む）、
複数月平均８０時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。

POINT 2　年次有給休暇の確実に取得させること！

（施行：2019年4月1日～）

使用者は、１０日以上の年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、**毎年５日、時季を指定**して有給休暇を与える必要があります。

POINT 3　正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差の解消！

（施行：2020年4月1日～ ※中小企業は2021年4月1日～）

同一企業内において、正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、**基本給や賞与などの個々の待遇ごと**に不合理な待遇差が禁止されます。

詳細は、福岡労働局ホームページでご確認ください。▷▷　福岡労働局　働き方改革　検索

「北九州マイスター」の技術を伝授します！

長年にわたり技能の研鑽、後進の育成に励み、卓越した技能で「モノづくりのまち　北九州」の発展を支えてきた『北九州マイスター』が、地域企業へ出向き、技術指導を行っています！
指導内容については、お気軽にご相談ください！

技術指導項目	溶接・機械加工（普通旋盤・マシニングセンター等）・研削加工・仕上げなど（その他ご希望をご相談ください）		
技術指導費用	指導時間	通常費用	北九州市内中小企業
	3時間（半日）	20，000円	10，000円
	6時間（1日）	40，000円	20，000円
	※北九州市からの費用負担については、回数および上限金額の制限があります。 ※北九州市内中小企業でない場合、旅費等が必要な場合があります。		

【申込・お問合せ先】
北九州マイスター技能伝承倶楽部事務局（北九州イノベーションギャラリー内）
TEL：093－663－5507　FAX：093－663－5508　E-Mail：meister@kigs.jp
《受付時間》9:00～17:00　火曜日～土曜日（祝祭日除く）

KITAKYUSHU MEISTER

北九州マイスターヘルプ　検索

KITAKYUSHU MEISTER

『第12回北九州マイスター』に３名を認定！

北九州市では、長年にわたり技能の研鑽、後進の育成に励み、卓越した技能で“ものづくりのまち北九州”の発展を支えてきた方々を『北九州マイスター』として認定・表彰しています。

令和元年度は、下記の３名の方々を認定しました。『北九州マイスター』は、今回の認定者を含め合計56名となります。認定された『北九州マイスター』の方々には、今後、様々な技能伝承活動を通して、マイスターならではの“匠の技”を市内中小企業の技能者や若者へ伝授していただく予定です。

「第12回北九州マイスター」に認定された方々

氏　名（五十音順･敬称略）	技能の紹介
技能分野：射出成形 田中（たなか）　潤一（じゅんいち） ＜勤務先＞ 三島光産㈱ 	これまで、カメラの小型レンズ、ギア、自動車のバンパー等、大きさ・形状・材質も異なる様々な製品を製造しており、射出成形に関し豊富な経験を有する。 現在、担当しているICトレイ製造において、射出成形のみならず、金型製造、原料製作、製品設計や品質管理等にも精通しており、全プロセスのエキスパートである。ICトレイは、材料・形状・サイズが多種多様で、客先ニーズに沿った複雑な形状に対し、特殊導電性樹脂を用いての成形は容易ではないにもかかわらず、それぞれ最適且つ安定的な条件を設定しうる高い技能や知識を持つ。
技能分野：連続鋳造 田中（たなか）　徹朗（てつろう） ＜勤務先＞ 日本製鉄㈱ 八幡製鉄所 	連続鋳造操業の経験を活用し、現在は設備管理を担当。豊富な経験と設備知識を有しており、異常の早期発見や重大トラブル未然防止を行う等の優れた技能を有している。 操業と設備管理の経験を活かし、誰もが使用可能な設備改善を実施できる実力を持つ。一例として、漏油予兆管理設備を新規導入した際、自身の経験を反映した設備配置や点検方法を検討し、従来検知出来なかった少量の漏油を早期検知する方法を確立した。また、分かりやすいマニュアル作成や技能指導の能力も優れており、後輩からの信頼も厚い。
技能分野：機械設備保全 横山（よこやま）　善一（ぜんいち） ＜勤務先＞ 三島光産㈱ 	機械の据付調整や機械設備保全を担当しており、乾燥機、送風機、コンベア等、多種多様な機械に対応できる。五感や振動計の数値を頼りに異常を検知し、また、適切な整備時期を計算・予想することができ、故障を事前に防ぐ能力にも長けている。 秘密保持により写真撮影や図面取得ができない機械については、それを分解する様子を見て、機械部品をイラスト化している。それをもとに、故障しないための予防策や適切な機械の運転方法をわかりやすく説明する能力があり、自社社員や取引先からの信頼は厚い。

【問い合わせ先】北九州市産業経済局雇用政策課　担当：辻井、田口　　TEL：093-582-2419

第13回「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰」受賞者決定！！

少子高齢化が急速に進むなか、長時間あるいは画一的な労働を前提とした働き方は、様々な課題に直面するようになりました。

本市では、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く市内企業や市民の皆さまに紹介しています。

この度、第13回の表彰企業等を下記のとおり決定し、北九州市役所内にて表彰状授与式を行いました。

北九州市長と受賞者のみなさま

企業・団体部門 市長賞

株式会社 不動産のデパートひろた　不動産業　八幡東区山王 1-11-1　従業員数：116 人（うち女性 57 人）

ＲＰＡなど先進技術の活用による大幅な業務改善に成功！さらに雇用区分に関わりない適材適所の人材登用で女性活躍を後押し。社員が自立した組織づくりを進める姿勢は業界の働き方改革トップランナー！

【特長的な取組内容】　働き方の見直し　職務充実　キャリア形成支援

- これまで各店舗で行っていた物件の重要事項説明をＰＣやスマートフォンを活用し本社で行う「ＩＴ重説」や、子育て中の女性パート社員が主担当となって進めた「ＲＰＡ導入」で見積書等の書類作成を自動化したことにより、大幅な業務効率化に成功（約１，４７０時間削減／年）
- 収益の軸である営業部門が、付加価値の高い業務に集中して取り組めるよう、本社に「営業支援グループ」を設置して業務を移管するなど「分業化」を推進。社員の負荷軽減（約４２０時間／年）やスキルアップだけでなく、短時間勤務社員の積極的な雇用にもつながっている。
- 雇用区分等に関わりない公正・公平な人事評価「キャリアパス制度」や「メンター制度」の整備
- 社員提案制度である「業務改善表彰」でボトムアップされた改善策を積極的に実施し、社員のやる気を応援

企業・団体部門 奨励賞

有限会社 インテリジェントパーク　情報サービス業　小倉北区片野 2-16-15 2F　従業員数：6 人（うち女性 4 人）

産休・育休・時短勤務は当然のこと。生き方が多様化する中、社員の様々な事情に理解を示しダイバーシティ経営を実践！

【特長的な取組内容】　ダイバーシティ　イクボス

- 短時間勤務や出退勤時間を柔軟に調整するなど、子育てや介護との両立を支援
- システムツールを活用した情報共有を行い、在宅勤務者も含めた全社員の業務の進捗を管理。相互にフォローし合い、業務の品質を確保しながら全体量をコントロール
- 業務の技術取得のほか、ファイナンシャルプランナーやマナーなどの資格取得の支援により社員の成長を応援
- 社員の絆を深める「愚痴る会」の開催やストレス軽減のための福利厚生サービスを多数実施

企業・団体部門 奨励賞

第一生命保険　株式会社　北九州総合支社　保険業　小倉北区米町 2-1-2　従業員数：822 人（うち女性 775 人）

支社トップ自らが女性活躍を後押し。トップダウン、ボトムアップ双方向の取組を通じて女性活躍とワーク・ライフ・バランスを推進！

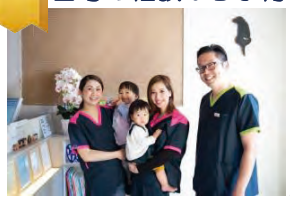
【特長的な取組内容】　働き方の見直し　キャリア形成支援

- 毎週水曜日を「ワークスマートデー」として早帰りを、うち月１回は「スーパー早帰り」とし定時前の１５時退社を実施。さらに一定の時間帯の電話連絡を制限するなどして実行力を高めている。
- 役職ごとの毎月の総労働時間を「ボトムライン目標」として設定し徹底管理
- 昨年、男性育休取得１００％を達成し、ワーク・ライフ・バランスの推進が実績となって表れている。
- ２０１８年に福岡県と包括連携協定を締結したほか、北九州市の「認知症サポーター養成講座」や「ＡＥＤ講習」の女性社員発案による実施など、社会貢献と女性活躍を推進し、ＳＤＧｓの達成に向けて取組を進めている。

個人部門 奨励賞

森下　泰弘さん　美咲歯科クリニック院長　小倉北区

自身の経験から子育て世代の女性活躍を推進！地域の将来も見据えながら、仕事も家庭も両立するイクボス！



小倉北区で歯科クリニックを経営。多忙な勤務医時代、結婚・出産といった事情で離職していく多くの有能な歯科衛生士を目の当たりにしてきたことから、子育てしながら働ける職場環境づくりと自身の働き方改革を念頭に開業した。スタッフの子どもの迎えの時間や地域の患者の年齢層を考慮して、診療時間は８時から１７時までに設定。子連れ出勤を認めたり、スタッフの家庭の事情に合わせた柔軟な勤務シフトや相互にカバーできる体制を構築。

併せて、医療品質を確保しながら、診療時間の厳守や業務効率化を実践。「働く人も家族と同じ」という考えのもと、妻が働くにはどうあるべきかを想定し、従業員満足と顧客満足のバランスを図りながら働き方を追及している。また、地域に根差した診療所を目指し、来院が難しい方の口腔内ケアが重視されにくい現状を踏まえ、ケアマネージャーの資格を取得し、訪問診療にも力を注いでいるほか、妻とともに町内会の活動を行うなど地域にも貢献している。自身は妻と娘３人の５人家族。毎日の夕食を共にしたり、家事を率先して行うようになったことで子どもたちの笑顔が増え、仕事のストレスも減ったと実感している。スタッフにも同じ思いをしてほしいという熱意をもったイクボスである。

歯科衛生士の人材不足が課題となっている中、女性活躍を推進する歯科医師のイクボストップランナーとして、その取組がスタッフのキャリアアップやスキルアップにどのようにつながっていくか、訪問診療のニーズが高まるであろう地域の将来も見据えた経営ビジョンの達成と今後の活躍に期待したい。

各受賞者の詳細につきましては、HP「はじめよう！ワーク・ライフ・バランス」（http://wlb-kitakyushu.jp/commendation/）をご覧ください。

【問合せ先】北九州市総務局女性活躍推進課　TEL 093-582-2209

（北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会）

表表紙

四宮 佑次　時の肖像#09

時を経て全ての“物”は朽ち果てる。朽ちていく中で素晴らしいディテールを形成する。今回の『時の肖像 #09』は古い家屋の外壁のヒビわれを補修したセメントのラインの形の面白さについつい、シャッターを切らされた。

裏表紙

四宮 佑次　風に吹かれて#08

このところ自然の形に興味をそそられ、巨木シリーズを撮影している。ネットで何かすごい形を有する巨木を検索し、特にバックグランドが自然の森でシンプルにそれの形が素晴らしく表現できる巨木、を追ってあちこちと走り回っている。今回チョイスした巨木は直方植木の川沿いに確か樹齢300年だと思うが、公孫樹の巨木、面白いテクスチャー、形、底知れないパワーを感じる木である。

プロフィール

四宮　佑次 氏　（写真　美術家）日本写真家協会会員、日本広告写真家協会会員

1949年　福岡県生まれ
1972年　日本大学芸術学部写真学科卒
1983年　イルフォード（イギリス）作品選出
1984年　ジナー社（スイス）カレンダーに作品選出
1988年　四宮佑次写真展（イタリア光と影）銀座フジフォトサロン
1999~2015年　JAPAN&USA EXCHANGE ART SHOW
1999~2011年　日韓展
2005年　ノルウエー日本文化プロジェクト選出
2007年　ドイツライプチヒJAPANフェスティバル（おはよう日本）選出
2014年　（丘の上の玉手箱）北九州市立美術館フランクステラのドキュメント写真
2015年　四宮佑次写真展　（風に吹かれて）　直方谷尾美術館

著　書

1991年　（器と料理）共著　同朋社出版
1992年　FORTEENTH RED（十四代柿右衛門）ゼネラルアサヒ
1993年　赤い道（画家　乗田貞勝の世界）ゼネラルアサヒ
2006年　（山頭火を行く）ランダムハウス講談社
2009年　（森正洋の全仕事）ランダムハウス講談社
2013年　（京都名建築で食べ歩き）宝島社

etc.

北　中　連　日　誌

（R1．7～）

年月日	行　事　名	場　所	
R1．7．3	北九州雇用対策協会 理事会･総会･講演会	小倉北区	ホテルクラウンパレス小倉
7．8	北九州市環境産業推進会議 第11回合同セミナー	〃	AIM ビル
7．10	北中連 組合事務局協議会総会	〃	リーガロイヤルホテル小倉
7．22	北中連 建設関連部会	〃	市立商工貿易会館
〃	北中連 金融税制委員会	〃	〃
7．23	北中連 商業部会	〃	〃
〃	北中連 サービス業その他業種部会	〃	〃
〃	商工中金 支店長歓送迎会	〃	リーガロイヤルホテル小倉
7．26	北中連 工業部会	〃	アートホテル小倉ニュータガワ
〃	福機連北九州支部 総会･卓話会･交流会	〃	〃
8．5	地域経済懇談会･懇親会	〃	〃
8．8	北九州商工会議所 部会委員総会･卓話会	〃	毎日西部会館
8．9	企業経営者人権啓発セミナー	〃	ステーションホテル小倉
8．21	第２回エコアクション 21地域運営委員会	戸畑区	北九州テクノセンター
〃	中央会 消費税率引き上げに伴う関連施策研修会	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
〃	中小企業振興協議会	〃	市本庁舎
8．23	北九州市民環境活動推進協議会	〃	〃
9．12	市商連 役員･販促委員合同会議	〃	市立商工貿易会館
9．25	北中連 正副会長会･第３回理事会	〃	〃
10．4	アジア成長研究所 創立30周年記念シンポジウム	〃	リーガロイヤルホテル小倉
10．7	北九州活性化協議会 創立30周年記念特別講演会	〃	北九州国際会議場
10．8	北九州市安全･安心推進会議	〃	市本庁舎
10．10	北九州商工会議所 観光サービス部会 部会員総会	〃	毎日西部会館
10．18	福岡県立小倉高等技術専門校 運営協議会	小倉南区	小倉高等技術専門校

年月日	行　事　名	場　所	
10. 24	福岡県立戸畑高等技術専門校 運営協議会	戸畑区	戸畑高等技術専門校
10. 30	北九州学術研究都市フォーラム	若松区	北九州学術研究都市
10. 31	福機連 正副会長会、理事会	福岡市博多区	県中小企業振興センター
11. 1	北九州商工会議所 役員･議員就任披露パーティー	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
11. 7	第71回中小企業団体全国大会	鹿児島県	鹿児島アリーナ
11. 19	北九州市女性活躍　ラークライフバランス推進協議会	小倉北区	市本庁舎
〃	北九州地区組合事務局担当者研修会	〃	リーガロイヤルホテル小倉
11. 21 ～ 22	福機連 先進企業視察	兵庫県	竹内鉄工㈱･伊福精密㈱
11. 25	北九州市に対する令和２年度要望書の提出	小倉北区	市本庁舎
〃	北九州市暴力追放推進会議 臨時総会	〃	〃
11. 28	北中連 監査会	〃	北中連事務所
12. 2	福岡県に対する令和２年度要望書の提出	福岡市博多区	福岡県庁
12. 10	北中連 第４回理事会	小倉北区	稚加榮

会　員　名　簿

（令和元年12月1日現在）

1号会員

No.	企業名（団体名）	〒	所　在　地	TEL
1	北九州スポーツ用品（協）	802-0084	小倉北区香春口1-7-7　美萩野スポーツ内	941-2659
2	（協）大里商店連合会	800-0025	門司区柳町1丁目5-26	381-0248
3	東門司商店街（協）	801-0873	門司区東門司1丁目12-31	332-7277
4	魚町一丁目商店街（振）	802-0006	小倉北区魚町1丁目1-15-3F	551-4828
5	魚町サンロード商店街（協）	802-0006	小倉北区魚町3丁目3-20	531-0331
6	魚町商店街（振）	802-0006	小倉北区魚町3丁目1-15	521-6801
7	北九州広域生コンクリート（協）	802-0001	小倉北区浅野2丁目6-16　マルサンビル2F	511-6699
8	北九州市防水工事業（協）	802-0082	小倉北区古船場町4-17　近藤ビル2F	531-4607
9	北九州中小商工業者（協）	802-0065	小倉北区三萩野2丁目3-5　民商会館内	921-6981
10	北九州ビルメンテナンス（協）	802-0081	小倉北区紺屋町4-6　北九州第一ビル	531-3288
11	小倉魚町二番街（協）	802-0006	小倉北区魚町2-1-7　松永ビル6F　㈱マチクラ内	
12	小倉駅前商店街（協）	802-0002	小倉北区京町2-7-18　ISビル3F	522-0148
13	小倉機器工業（協）	802-0011	小倉北区重住3丁目4-25　㈱九州発条内	931-0484
14	小倉中央銀座商店街（協）	802-0006	小倉北区魚町1丁目2-5	531-6785
15	戸畑貨物センター（協）	803-0801	小倉北区西港町92-6	571-4337
16	（協）日専連北九州	802-0005	小倉北区堺町1丁目6番15号　日専連ビル9F	521-7550
17	毎日新聞西部販売店（協）	802-8651	小倉北区紺屋町13-1	541-3274
18	（協）北九州イベントスタッフ協会	800-0241	小倉南区長野本町3丁目10-1	474-1099
19	北九州エルピーガス事業（協）	802-0978	小倉南区蒲生1-1-26-3F　LPガス会館内	962-6803
20	北九州工業団地（協）	800-0211	小倉南区新曽根8-39	471-7159
21	キック（協）	800-0221	小倉南区下曽根新町13-1　㈱リードヘルスケア内	473-0355
22	小倉鉄工団地（協）	803-0185	小倉南区石原町175番地	451-0150
23	新日本設備工業（協）	803-0185	小倉南区大字石原町　小倉鉄工団地内　日田建工㈱内	452-3835
24	東小倉工業団地（協）	800-0211	小倉南区新曽根3-7	473-4010
25	北九州運輸（協）	805-0061	八幡東区西本町1丁目3-18	671-1991
26	九築工業（協）	805-0017	八幡東区山王1丁目9-10　経理課	671-1635
27	共栄開発（協）	805-0019	八幡東区中央2丁目24-5　㈱芳賀内	671-1316
28	ジェーイーシー（協）	805-0019	八幡東区中央3丁目2-20　エルゼ内	681-1233
29	八幡祇園町銀天街（協）	805-0067	八幡東区祇園1丁目6-1-103	671-0503
30	八幡中央区商店街（協）	805-0019	八幡東区中央2丁目16-10	671-4340
31	八幡電気工事業（協）	805-0069	八幡東区前田1丁目9-4　シンバビル2F	681-7572
32	（協）安協会	806-0011	八幡西区紅梅3丁目1-21	631-3711
33	（協）折尾商連	807-0825	八幡西区折尾3丁目1-32	691-1462
34	（協）北九州トヨタグループ	806-0041	八幡西区皇后崎町14-6	642-2111
35	黒崎駅前新天街（協）	806-0021	八幡西区黒崎2丁目7-16	

No.	企業名(団体名)	〒	所　在　地	TEL
36	三ヶ森商店街(振)	807-0843	八幡西区三ヶ森3丁目10-18	612-2261
37	西部興産グループ事業(協)	806-0064	八幡西区割子川1丁目17-32	613-1115
38	萩原・青山商店街(協)	806-0059	八幡西区萩原1丁目7-10	621-5416
39	九州ツバメ石油(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸4-48	871-1330
40	(協)くすりの九友会	804-0091	戸畑区三六町14-12	871-0661
41	清掃美化(協)	804-0021	戸畑区一枝3丁目6-12	883-1552
42	(協)テクノタウン戸畑	804-0077	戸畑区牧山海岸2-26	871-2738
43	天神商店街(振)	804-0094	戸畑区天神2丁目5-4	882-8488
44	西日本砂、砂利採取販売(協)	804-0075	戸畑区北鳥旗町2-15　ＫＳＫビル	871-2701
45	戸畑新工業団地(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸3-10	861-1170
46	北九州遠賀葬祭業(協)	808-0024	若松区浜町2丁目3-28　㈱光善社内	761-2559
47	北九州塗装(協)	808-0109	若松区南二島2丁目17-18	701-2300
48	北九洲包装函(協)	808-0021	若松区響町1丁目88-11　山本段ボール㈱内	751-0200
49	響工業団地(協)	808-0022	若松区大字安瀬1番地25	751-4561
50	北九州西部青果(協)	809-0001	中間市大字垣生字東七反田1500	243-5177
51	第一物流センター (協)	811-4311	遠賀郡遠賀町大字老良365-1	293-3270
52	中間市管工事(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-1	245-0077
53	中間市建設(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-5	245-1787
54	築上西部液化ガス事業(協)	829-0313	福岡県築上郡築上町有安179番地	0930-56-0183

２号会員

No.	企業名(団体名)	〒	所　　在　　地	ＴＥＬ
1	福岡ひびき信用金庫	805-0059	八幡東区尾倉2丁目8番1号	661-2311
2	(株)オフィスソリュ―ションズ北九州	803-0831	小倉北区日明3丁目6-20	591-2711
3	(有)フジプロダクション	802-0064	小倉北区片野1丁目13-1-202	922-3191
4	よしみ工産(株)	804-0094	戸畑区天神1丁目13-5	882-1661
5	北九州高齢者能力活用協議会	804-0067	戸畑区汐井町1-6　ウェルとばた8F	881-6699
6	(株)アクシス	807-0822	八幡西区瀬板1丁目16-1	603-8711
7	社会福祉法人 福岡コロニー	811-0119	粕屋郡新宮町緑ケ浜１丁目11番1号	092-962-0764
8	北九州商工会議所	802-8522	小倉北区紺屋町13-1	541-0181
9	(公社)九州機械工業振興会	804-0003	戸畑区中原新町1-1	861-3001
10	福岡県機械金属工業連合会 北九州支部	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7F　北中連内	531-0127
11	北九州市商業総連合会	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7F　北中連内	531-0127
12	西日本産業(株)	804-0041	戸畑区天籟寺1丁目6番17-1	883-1281
13	(株)メイケン九州	803-0826	小倉北区高峰町4-11	582-4588
14	明光運輸(株)	804-0094	戸畑区天神2丁目2-27	871-5690
15	(株)フジコー	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
16	(株)測　研	804-0013	戸畑区境川2丁目4-5	883-1511
17	(株)ケィ・ビー・エス	802-0014	小倉北区砂津1丁目2-13	522-0096
18	(株)大分銀行　小倉支店	802-0003	小倉北区米町1丁目1番21号	521-8336
19	(株)西日本シティ銀行北九州総本部	802-0004	小倉北区鍛冶町1-5-1	511-0926
20	(株)井上産商	804-0092	戸畑区小芝3丁目8番22号	882-2881
21	(株)山本工作所	805-8514	八幡東区大字枝光1950番地の10	681-0378
22	清新産業(株)	805-0017	八幡東区山王１丁目16-8	661-4635
23	丸正鋼材(株)	808-0109	若松区南二島２丁目2-22	791-5133
24	(株)千　草	805-0061	八幡東区西本町1丁目1番1号	671-1131
25	九州電力(株)北九州支社	802-8521	小倉北区米町2丁目3番1号	531-1180
26	北九州エアターミナル(株)	800-0306	小倉南区空港北町6番	475-4195
27	(株)Ｃ＆Ｇシステムズ	806-0067	八幡西区引野1-5-15	642-4541
28	ＴＯＴＯ(株)	802-8601	小倉北区中島2丁目1番1号　総務第一グループ気付	951-2052
29	戸畑港運輸(株)	804-0071	戸畑区川代二丁目4番1号	871-1721
30	(株)ゼンリン	804-0003	戸畑区中原新町3-1	882-9050
31	(株)芳　賀	805-0019	八幡東区中央2丁目24番5	671-1316
32	竹原運送(株)	804-0066	戸畑区初音町13番32号	871-3228
33	(株)ギラヴァンツ北九州	802-0001	小倉北区浅野3-1-26　あべりあ浅野ビル	863-6777
34	(株)豊川設計事務所	803-0835	小倉北区井堀3-18-18　Casa Foresta1F	581-7082
35	(株)安川電機	806-0004	八幡西区黒崎城石2番1号	645-8801
36	(株)タカギ	802-8540	小倉南区石田南2丁目4-1	962-0941
37	西部ガス(株)	803-8666	小倉北区愛宕1丁目5番10号	591-6600
38	(公財) 産業雇用安定センター　北九州駐在事務所	802-0001	小倉北区浅野3丁目8-1　AIMビル2F	531-7806

迎　春

福岡県中小企業団体中央会

会　長　桑　野　龍　一

副会長　自見　榮祐　　副会長　武内　照臣
〃　花元　英彰　　〃　重松　和馬
〃　寺嶋　貞夫　　〃　深田　康氏
〃　忍田　勉　　専務理事　吉岡　秀樹
外　役職員一同

本　　所　〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センター９階
TEL092-622-8780　FAX092-622-6884
https://www.chuokai-fukuoka.or.jp/

北九州支所　〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館６階
TEL093-531-0181　FAX093-531-0469
E-Mail:kokura@chuokai-fukuoka.or.jp

一般社団法人 福岡県機械金属工業連合会

会　長　松本　茂樹　　副会長　吉田　祐司
副会長　自見　榮祐　　〃　吉岡　秀樹
〃　鐘川邦次朗　　常務理事　福島　望
他 役員一同

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センタービル 11F 115号室
電話 092-612-5155　FAX 092-612-5178
E-mail : info@fukukiren-monodzukuri.jp
URL : http://www.fukukiren-monodzukuri.jp

小倉南区新曽根八番三九号
電話　四七一―七一五九
FAX　四七一―七一七一

北九州工業団地協同組合

代表理事　安田　敏剛

小倉北区紺屋町四番六号
電話　五三一―三二八八
FAX　五三一―三二五五

北九州ビルメンテナンス協同組合

代表理事　渡辺　敏也

小倉北区魚町三丁目一番十五号
電話　五二一―六八〇一
FAX　五二一―六八〇九

魚町商店街振興組合

代表理事　梯　輝元

小倉北区西港町九二番六号
電話　五七一―四三三七
FAX　五七一―四三三九

戸畑貨物センター協同組合

代表理事　竹原　健次

小倉南区新曽根三番七号
電話・FAX　四七三―四〇一〇

東小倉工業団地協同組合

代表理事　山岡　義昭

小倉北区魚町一丁目二番五号
電話　五三一―六七八五
FAX　五三一―六七八六

花いっぱい　ちゅうぎん通り

小倉中央銀座商店街協同組合

理事長　井上　弘

小倉北区重住三丁目四番二十五号
㈱九州発条内
電話　九三一―〇四八四
FAX　九三一―〇四八五

小倉機器工業協同組合

理事長　安心院　武彦

小倉北区京町二丁目七番十八号　ISビル３F
電話　五二二―〇一四八

小倉駅前商店街協同組合

理事長　杉岡　密雄

迎　春

北九州塗装協同組合

理事長　志　水　雅　弘

他　　組合員一同

〒808-0109　北九州市若松区南二島二丁目17番18号
電 話 093-701-2300
FAX 093-791-3997
［URL］　http://www.kita-pc.com
E-mail:k-toso-k@circus.ocn.ne.jp
E-mail:ccg000242686@kaw.bbiq.jp

北九州市防水工事業協同組合

理事長　月　形　孝　司

〒 802-0082
北九州市小倉北区古船場町 4-17　近藤ビル２Ｆ
TEL（093）531-4607　FAX（093）531-4609
E-mail:kitakiyu.bou@train.ocn.ne.jp

八幡東区前田一丁目九番四号シンバビル２Ｆ
電　話　六八一―七五七二
ＦＡＸ　六八一―五一二〇

八幡電機工事業協同組合

理事長　樋　口　和　宏

小倉南区大字石原町一七五番地
電　話　四五一―〇一五〇
ＦＡＸ　四五一―〇一五二

小倉鉄工団地協同組合

代表理事　鍋　屋　秀　一

小倉北区魚町三丁目三番二〇号
電　話　五三一―〇三三一
ＦＡＸ　五二一―三九三九
http://www.uo-sun.or.jp/

魚町サンロード商店街協同組合

代表理事　梯　輝　元

小倉北区魚町二丁目一番七号

小倉魚町二番街協同組合

理事長　野　﨑　龍　之

戸畑区牧山海岸二番二十六号
電　話　八七一―二七三八
ＦＡＸ　八七一―二七三九

協同組合テクノタウン戸畑

理事長　白　石　春　利

戸畑区三六町十四番十二号
電　話　八七一―〇六六一
ＦＡＸ　八八二―二〇〇二

協同組合くすりの九友会

理事長　芳　野　直　人

戸畑区牧山海岸三番十号
電　話　八六一―一一七〇
ＦＡＸ　八七一―五一一六

戸畑新工業団地協同組合

代表理事　西　竹　浩　一

八幡西区萩原一丁目七番十号
電　話　六二一―五四一六

萩原・青山商店街協同組合

理事長　岩　男　平八郎

迎　春

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

支部長　**自　見　榮　祐**

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
市立商工貿易会館７階北中連内
電　話　093-531-0127
ＦＡＸ　093-531-0399

西日本産業株式会社

代表取締役　**麻　生　重　樹**

〒 804-0041
北九州市戸畑区天籟寺1－6－17－1号
ＴＥＬ 093-883-1281
ＦＡＸ 093-881-1696

北九州市戸畑区一枝三丁目六番一二号
電　話　八八三―一五五二
ＦＡＸ　八七一―〇二三三
清掃美化協同組合
代表理事　橋　本　耕　治

築上郡築上町大字有安一七九番地
電　話　〇九三〇―五六―〇一八三
ＦＡＸ　〇九三〇―五六―五五一三
築上西部液化ガス事業協同組合
理事長　北　川　靖　雄

中間市中間一丁目六番五号
電　話　二四五―一七八七
中間市建設協同組合
理事長　黒　瀬　剛
外　組合員一同

北九州市小倉北区古船場町一丁目三五番地
市立商工貿易会館七階北中連内
電　話　〇九三―五三一―〇一二七
北中連組合事務局協議会
代表幹事　自　見　政　芳

小倉北区古船場町一番三五号
北九州市立商工貿易会館六階
電　話　五三一―〇一八一
福岡県中小企業団体中央会
青年部連絡協議会
会長　松　田　敏　秀

小倉北区古船場町一番三五号
北九州市立商工貿易会館六階
電　話　五三一―〇一八一
北九州地区商店街連合会
会長　甲　山　博　美

NISSENREN

地域に貢献する

協同組合日専連北九州

理事長　中野　新司　　副理事長　瀬口　裕章
副理事長　岩本　浩一　　常任理事　禱　峰晴
外組合員・事務局一同

〒 802-0005　北九州市小倉北区堺町１丁目６番15号
TEL 093-521-7550　FAX 093-521-7551
E-mail:nissenren-kitakyusyu@gaea.ocn.ne.jp
https://www.nsr-kitaq.net

迎　春

確かな技術力で地域産業の
育成・支援を続ける九機振

KS 公益社団法人 九州機械工業振興会
Promote Association of Machine Industry,Kyushu.

教育研修
クレーン運転士実技教習、玉掛け技能講習、
床上操作式クレーン運転技能講習、
非破壊技術者資格講習会、研修室の開放利用

材料試験
引張試験、曲げ試験、圧縮試験、硬さ試験、
コンクリート圧縮試験、フィルム（ごみ袋等）試験

機械加工
精密機械による加工、各種機械の開放利用
（ジグボーラー、大型平面研削盤、ガンドリル）

〒804-0003
北九州市戸畑区中原新町１番１号
TEL：０９３－８６１－３００１
FAX：０９３－８６１－３００７
HP：http://www.kyukishin.or.jp/
E-MAIL：kksinfo@kyukishin.or.jp

事業所(事務室等)の清掃
事業所の負担は従事者
一人当たり９３５円／時間～

公益社団法人 北九州市 シルバー人材センター
http://www.kitakyusilver.jp （法律に基づく「公益法人」です。）
マスコットキャラクター「ひかりくん」

TEL　922－4801
＊詳細は、お問い合わせください。
北九州市小倉北区片野新町 1-1-6
http://www.kitakyusilver.jp/

YOSHIMI KOHSAN CORPORATION
プライバシーマーク 18190080

印刷のことならよしみ工産に
お任せ下さい!

企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績で
お客様に満足をご提供いたします!

総合印刷　よしみ工産株式会社

本　　社　〒804-0094　北九州市戸畑区天神１丁目13-5　TEL 093-882-1661㈹
福岡営業所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前１丁目23-28　TEL 092-481-9559㈹
東京事務所　〒113-0033　東京都文京区本郷３丁目26-1　本郷宮田ビル３階　TEL 03-5802-5601㈹

清 新 産 業 株 式 会 社

代表取締役　吉　森　恵　一

〒805-0017 北九州市八幡東区山王1丁目16番８号
TEL093-661-4635　　FAX093-661-3399

迎　春

これまでも、この先も、あなたと創る、この街を

あなたと共感、ハーモニー・バンク

福岡ひびき信用金庫

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。
ひびしん　検索
http://www.fukuokahibiki.co.jp/

リコー特約店　防犯・防災システム構築
スチール家具オフィス用品・各社取扱い

株式会社
オフィスソリューションズ北九州

代表取締役　木　下　健　治

〒803-0831 北九州市小倉北区日明3丁目6番20号
電　話 093-591-2711
ＦＡＸ 093-591-2712

www.office-sk.co.jp/　検索

新しい空、　新しい私。

北九州空港
KITAKYUSHU AIRPORT

早朝から深夜まで
東京(羽田)線,沖縄(那覇)線,静岡線
台湾(台北)線,韓国(釜山・仁川・襄陽)線,中国(大連)線
運航中！

北九州エアターミナル株式会社
〒800-0306 北九州市小倉南区空港北町6番
Tel.093-475-4195　Fax.093-475-1304
http://www.kitakyu-air.co.jp/

台風による竜巻・突風で起こる風災害、
ゲリラ豪雨による洪水、土砂崩れで起こる水災害。
被害に遭う前にきちんとした備えを。

現在ご加入の契約内容の見直しに『火災共済』をぜひご利用下さい。

福岡県火災共済協同組合
福岡市博多区吉塚本町９-15
福岡県中小企業振興センター８階
TEL:092-622-8071　FAX:092-622-8838
URL:http://www.fkyosai.com/

迎　春

みなさまの明日を
バックアップします。

福岡県信用保証協会　　北九州支所

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館
電　話　093-551-2631
ＦＡＸ　093-522-4754
ホームページ　http://www.fukuoka-cgc.or.jp/

FUKUOKA GUARANTEE

株式会社 豊川設計事務所
TOYOKAWA ARCHITECTS & ASSOCIATES

〒803-0835　北九州市小倉北区井堀 3-18-18-1F
Tel : 093-581-7082　Fax : 093-561-1579
H.P address : www.toyokawa-aa.com

takagi

水をデザインする。

株式会社 タカギ　本社：〒802-8540 福岡県北九州市小倉南区石田南 2-4-1
TEL：093-962-0941　FAX：093-963-5792
http://www.takagi.co.jp/

迎　春

商工中金は、国とともに、
中小企業をサポートする金融機関です。

特長その1　長期的な視点で安定したお取引

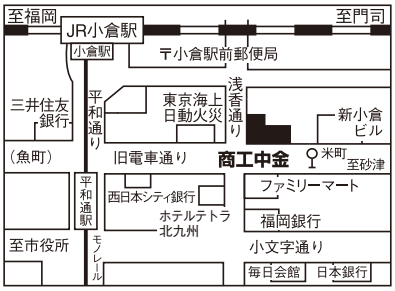
特長その2　中小企業の経営課題に対応する総合的な支援

特長その3　全国と海外のネットワークでビジネスをサポート

特長その4　協調と連携で地域経済の活性化の力に

商工中金

北九州支店 093(533)9567
〒802-0003 北九州市小倉北区米町2-1-2



個人のお客さま向けの定期預金です。
高めの金利設定(当金庫内比較)
固定金利の半年複利(元本保証)
1年、2年、3年から期間が選べる
安心、確実、お得に増やす
定期預金 マイハーベスト

北九州市商業総連合会

会　長　甲　山　博　美

副会長　常　田　和　義（門　司）
〃　田　中　孝　文（小倉南）
〃　伊　藤　信　宏（八　幡）
〃　髙　木　壽　則（戸　畑）
〃　安　部　研　一（若　松）

〒802-0082　小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館内
TEL 093-531-0127　FAX 093-531-0399

迎　春

響工業団地協同組合

代表理事　自　見　榮　祐

〒808-0022　北九州市若松区大字安瀬１番地25

電　話　093-751-4561

ＦＡＸ　093-751-4565

「介護と医療」の総合デパート 年長者の里

ケアマネジャー 88名在籍

うち 21名の専従ケアマネジャーが介護のお悩み解決します

年長者の里 かいごの窓口

365日受付
8：30～17：30

介護サービス
空き情報

☎093-652-2100

〒805-0048 北九州市八幡東区大蔵 3-2-1　E-MAIL　support@n-sato.com

担当／井上・中西（在宅介護支援センター内）

特定社会福祉法人 年長者の里

会員加入のご案内

本連合会では、時代や経済の変化とともに会員規定を見直し、従来の正会員（協同組合等）を「１号会員」とし、賛助会員のうち法人や法人を構成員とする団体を「２号会員」として、本連合会の運営に参画いただき、幅広い意見等を取入れ組織の活性化と拡大を図っています。

つきましては、本連合会の概要と趣旨をご理解のうえ、積極的にご加入いただきますようご案内申し上げます。

記

１　加　入　方　法　下記申込書にご記入のうえ、切り離してご投函ください

２　会　　費　「１号会員」　出資金による差等割

「２号会員」及び「賛助会員」　年額　10,000円

※ご加入後に会費の請求をさせていただきます。

３　事業の利用料　（１）会が主催する講演会、講習会、研究会等は無料

但し、懇親会等は実費を負担願います。

（２）FAX通信及びホームページ利用は事前に事務局へご相談ください。

郵便はがき

8 0 2-8 7 9 0

（受取人）

北九州市小倉北区古船場町一一三五

市立商工貿易会館　七階

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会 行

（☎五三一一〇一一七）

料金受取人払郵便

北九州中央局
承　認
7364

差出有効期間
令和３年12月
31日まで
★切手不要

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会　概要

1　沿　　革

昭和29年９月21日　任意団体北九州中小企業団体連合会として発足
昭和43年12月５日　北九州中小企業協同組合連合会として法人化
昭和50年８月22日　社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更
平成25年４月１日　一般社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更

2　事　　業

主に、講演会、シンポジウムの開催や会報の発行及び国、県、市などの中小企業施策や研修会、講習会等をFAXにより情報提供を行なっています。

また、工業部会、商業部会、建設関連業部会、サービス業その他業種部会の４部会及び金融税制委員会、情報委員会の２委員会を設置しており、各業界や業種の状況を把握し、県や市に対する意見や要望を集約して、毎年、建議・陳情を行なっています。

3　会員資格

「１号会員」北九州市、行橋市、豊前市、中間市、京都郡、築上郡、及び遠賀郡に事務所を有する中小企業等協同組合、商店街振興組合、商工組合及び協業組合
「２号会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人並びにこれらの者を構成員とする団体
「賛助会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人

令和　　年　　月　　日

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
会長　自見榮祐　殿

住　　所
企業(団体)名
代表者名　　㊞

会員加入申込書

1　業務内容
2　資本金（出資金／総額）　　万円
3　従業員数　　男性　　名、女性　　名、合計　　名
4　実務担当者名
5　連絡先　　TEL
　　FAX
6　郵便番号

迎　春

http://www.fukuoka-colony.net

印刷全般・さをり織り・製麺（冷凍うどん）

ポスター　チラシ　パンフレット　リーフレット　カタログ
ダイレクトメール　自費出版　広報誌　機関誌　書籍　文集
詩歌集　各種マニュアル　会議資料　帳簿　封筒　　etc.

fukuoka colony　社会福祉法人　福岡コロニー
コロニー印刷

本部・工場　〒811-0119　福岡県糟屋郡新宮町緑ケ浜一丁目11番1号
TEL.(092)962-0764　FAX.(092)962-0768

南福岡営業所　〒816-0934 大野城市曙町二丁目4-18
（福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園）
TEL.(092)501-7405　FAX.(092)501-7425

博多営業所　〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
中小企業振興センタービル1階
TEL.(092)611-2341　FAX.(092)501-7425

古賀営業所　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4422　FAX.(092)944-4071

なのみの里　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4308　FAX.(092)944-4309

なのみ工芸　TEL.(092)944-4419　FAX.(092)944-4071

・障害者支援施設　福岡コロニー
・障害福祉サービス事業所　わーくはうすコロニー
・障害福祉サービス事業所　福岡福祉工場
・障害者支援施設　福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園
・障害福祉サービス事業所　なのみ工芸
・障害者支援施設　なのみの里
・古賀市障害者生活支援センター　咲
・障害者就業・生活支援センター　ちどり
・共同生活援助事業所　グループホームかづるⅠ・Ⅱ
・相談支援事業所　福岡コロニー

中小企業団体の歌

高原泰助　作詞
飯田信夫　作曲

一
国の礎（いしづえ）　中小企業
精神（こころ）は一つ　団結の
固き盟（ちかい）に　結ばれて
希望に燃（も）ゆる　この組織
ああ組合の　大使命

二
ともに手をとり　足並揃え
励みは楽し　団結の
強き力に　護（まも）られて
荊棘（いばら）の道を　切り開く
ああ組合の　大事業

三
相互扶助こそ　われらの誇り
やがては築く　団結の
高き功（いさお）に　輝きて
栄える店に　工場に
ああ組合の　大理想

中小企業の団結と地域の活性化を目指す

北中連だより　令和2年1月31日発行　2020年新春号　通巻131号

発行人　自見榮祐
編集人　樽見明敏
発行所　一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
Kitakyushu Small & Medium Sized Businesses Organization
〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館7階
Tel.093(531)0127　Fax.093(531)0399
http://www.hokuchu.or.jp/
印刷所　社会福祉法人　福岡コロニー

四宮　佑次　『風に吹かれて#08』